

# 実態調査結果

## ② 障がい者（児）をケアしている方

令和3年9月

北海道保健福祉部

## 【調査目的】

支援を必要としているケアラーの早期発見や適切な支援につなげるための方策を検討するため、ケアラー本人が抱える悩みのほか、関係機関における取組状況などを把握することを目的に実施。

## 【主な調査項目】

- ・ケアラー自身について（性別、年齢、就労状況）
- ・お世話を必要としている人の状況（ケアラーとの関係、ケアが必要な理由）
- ・ケアの状況（期間、内容、悩み） ・サービスの利用状況 ・ケアラーの生活状況（健康状態、生活への影響）
- ・ケアラーの家族の状況（ケアをしている人数、ケアの分担）

## 【調査対象】

道内に居住する障がいのある家族の介護等を行うケアラー

〔 特定障害者相談支援事業所 1カ所につき、障がい者 2名、障がい児 1名を目安に、対象者を抽出 〕

## 【調査件数】

1, 515件

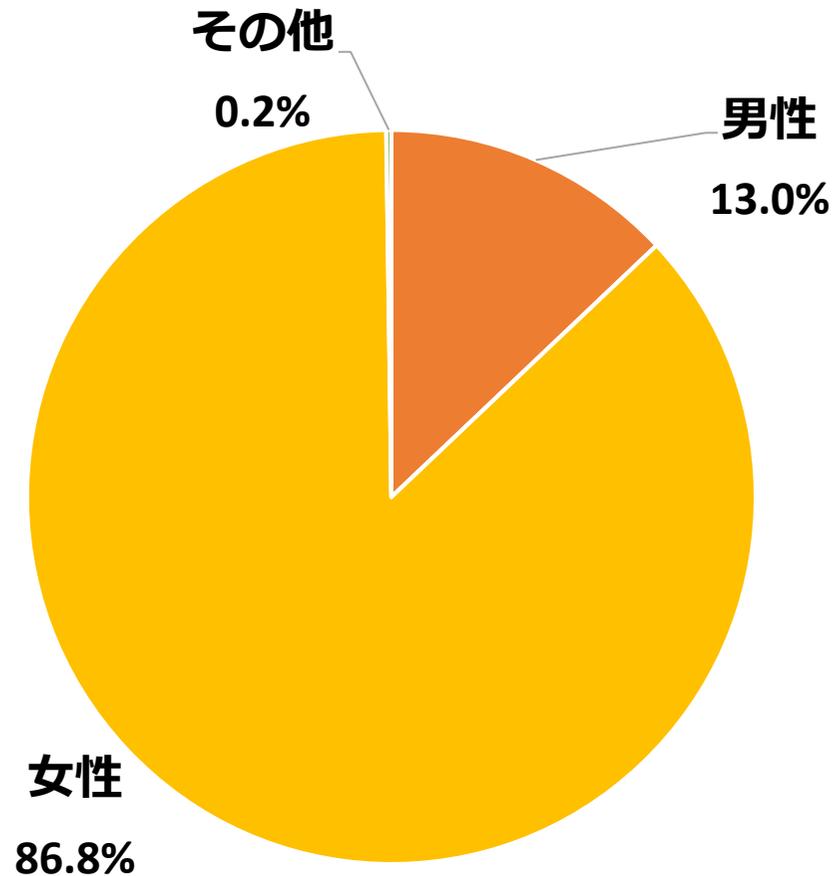
## 【回答件数】

447件（回収率 29.5%）

# 1 ケアラー本人の属性

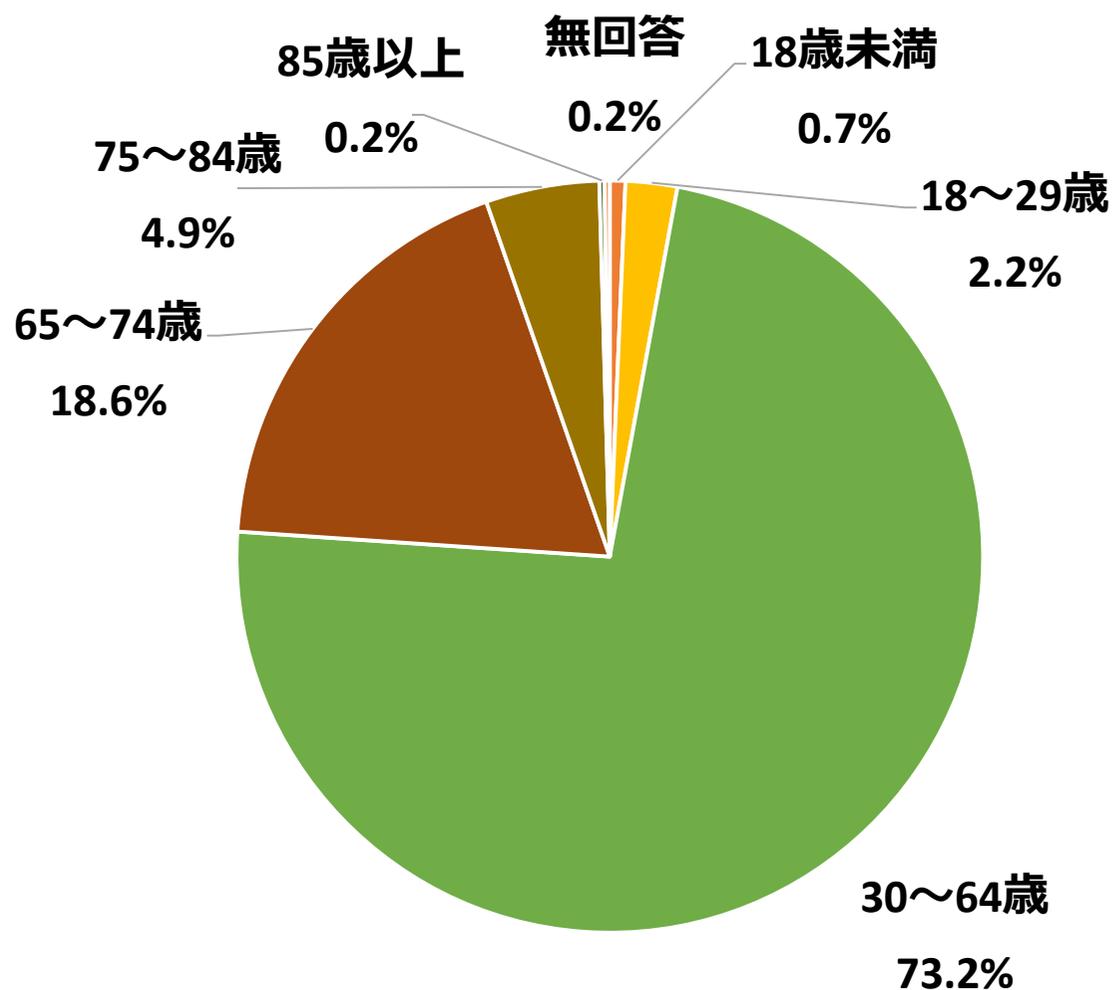
## (1) ケアラーの性別

・ケアラー本人（N=447）の性別をみると、「女性」が86.8%、「男性」が13.0%であった。



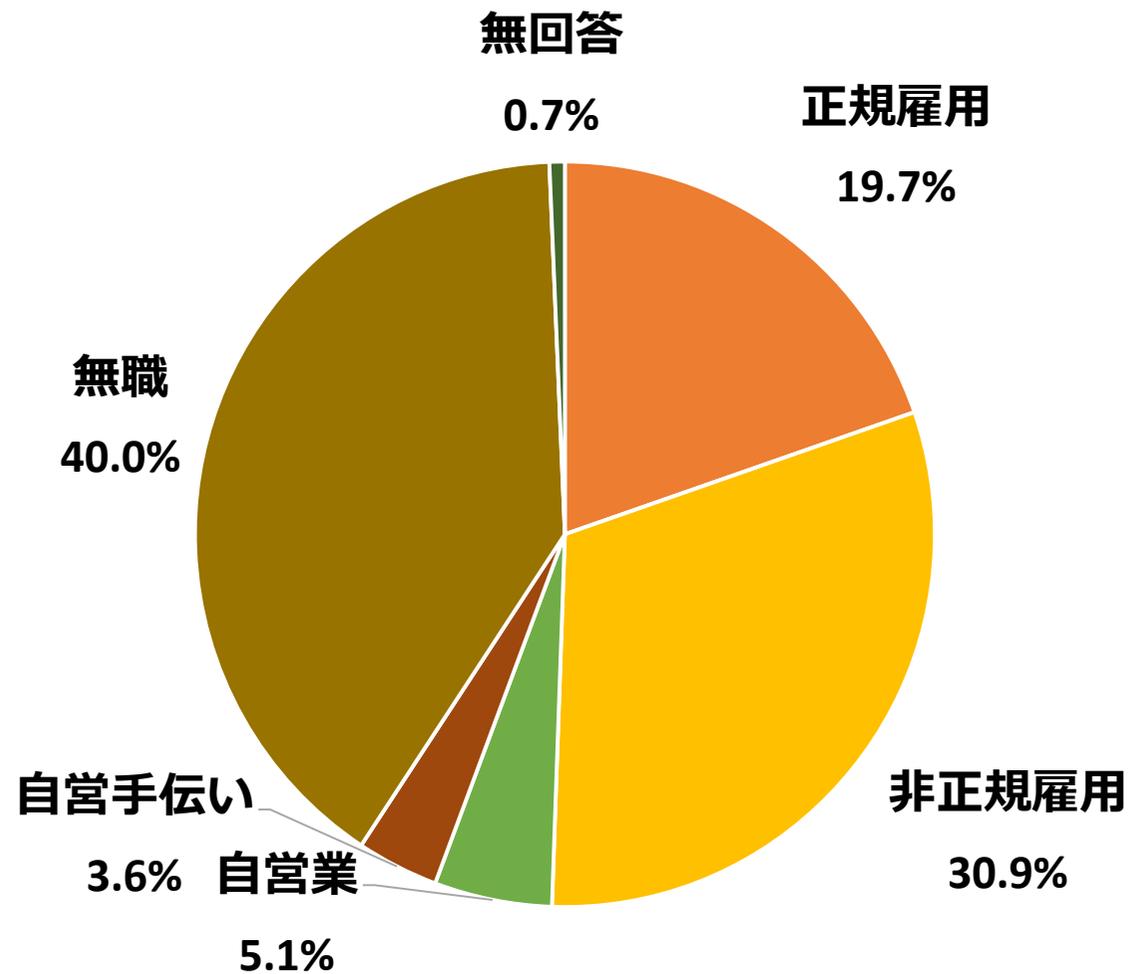
## (2) ケアラーの年齢

・ケアラー本人（N=447）の年齢をみると、「30～64歳」が73.2%で最も高く、次いで「65～74歳」が18.6%であった。



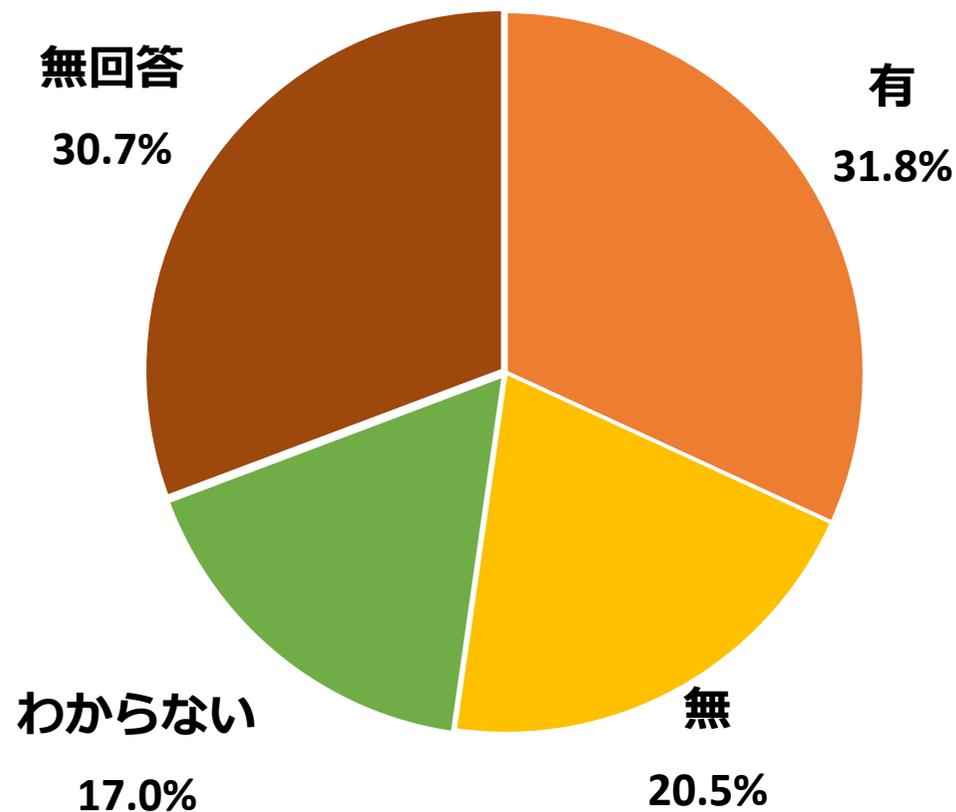
### (3-1) ケアラーの就労状況

・ケアラー本人（N=447）の就労状況をみると、「無職」が40.0%で最も高く、次いで「非正規雇用」が30.9%であった。



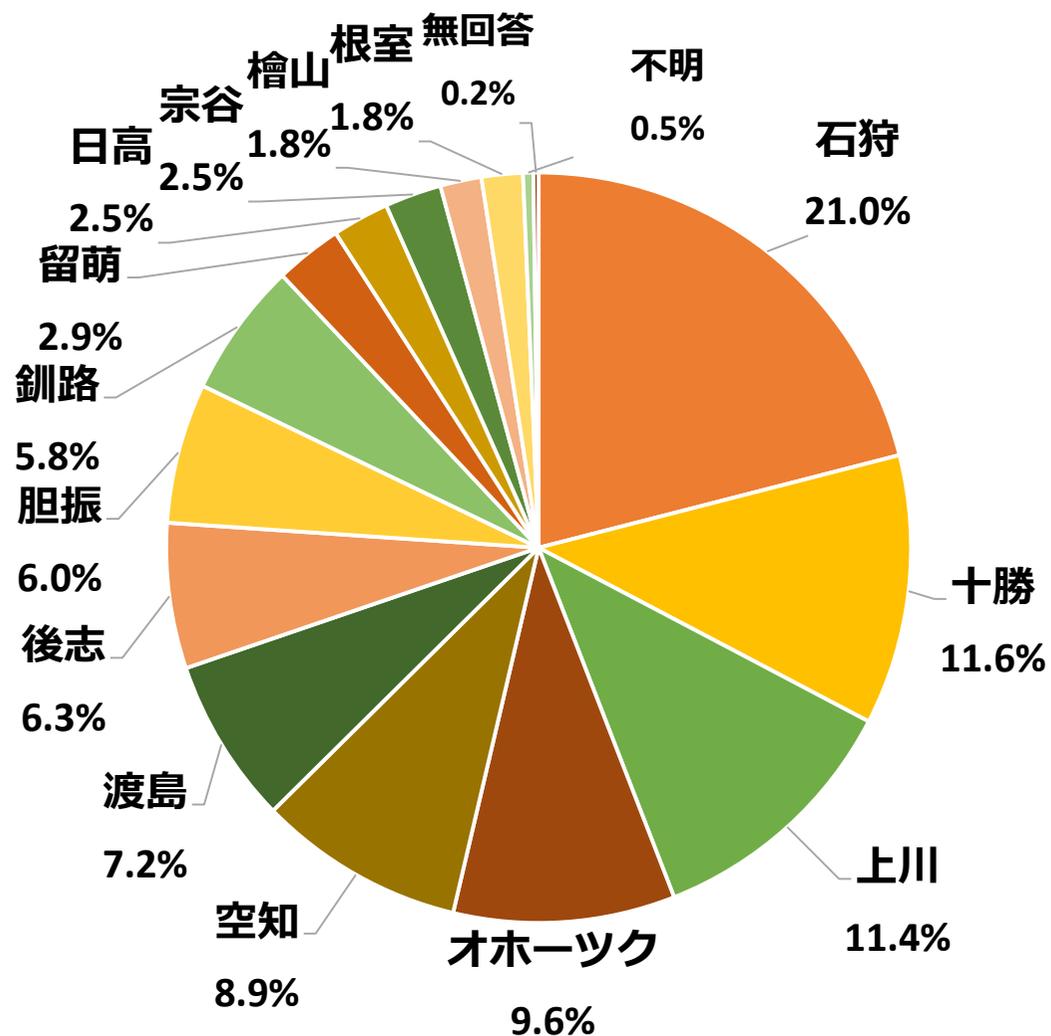
### (3-2) 介護休暇制度の有無（正規雇用者に限る）

・ 正規雇用者（N=88）のうち、介護休暇制度が「有」は31.8%、「無」は20.5%であった。



#### (4) 住んでいる地域

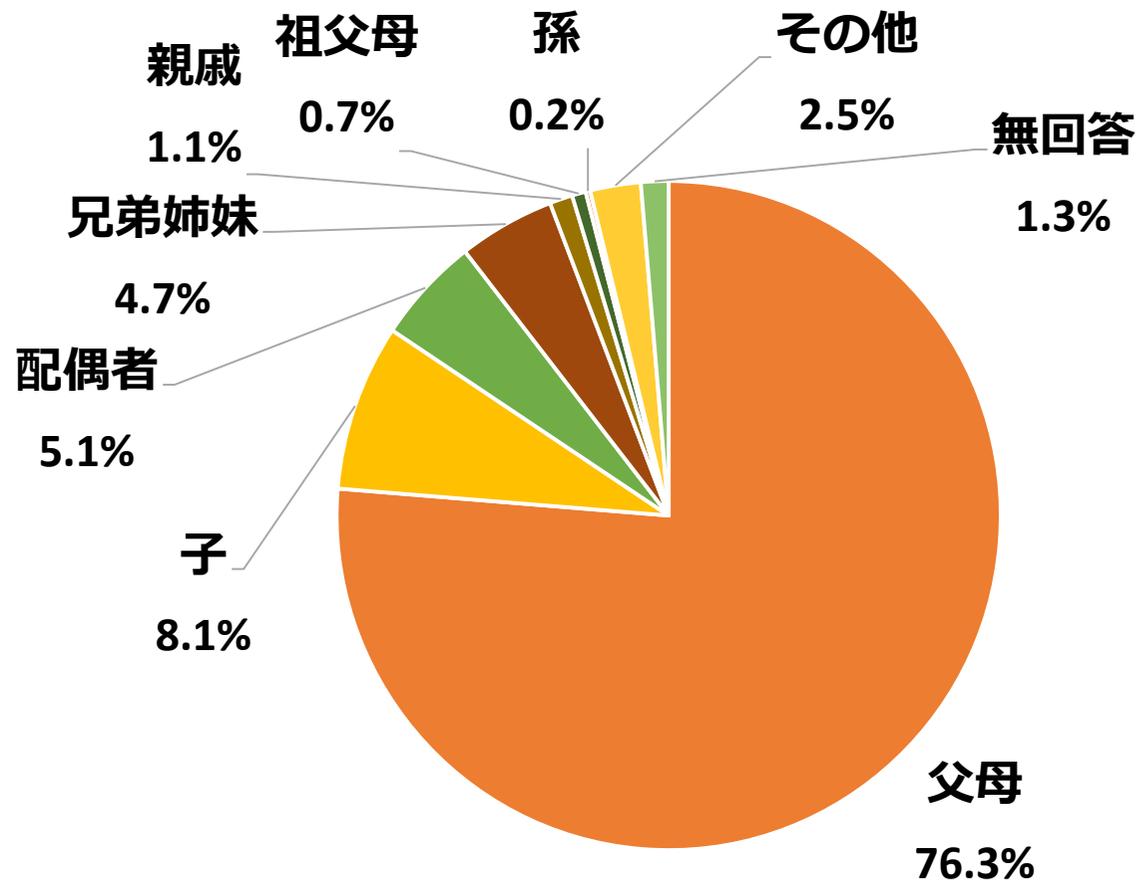
・回答者（N=447）の居住する振興局は、「石狩」が21.0%で最も高く、次いで「十勝」が11.6%であった。



## 2 お世話を必要としている人の状況

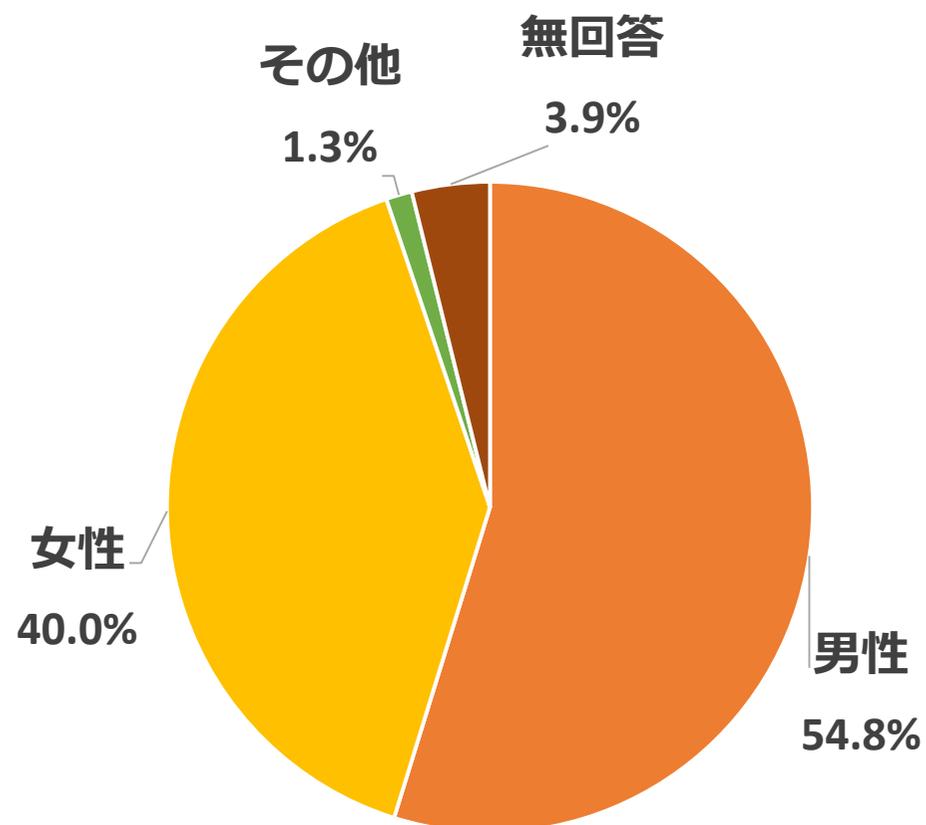
### (5) お世話をしている人の状況

・お世話をしている人の状況（N=447）をみると、「父母」が76.3%で最も高く、次いで「子」が8.1%であった。



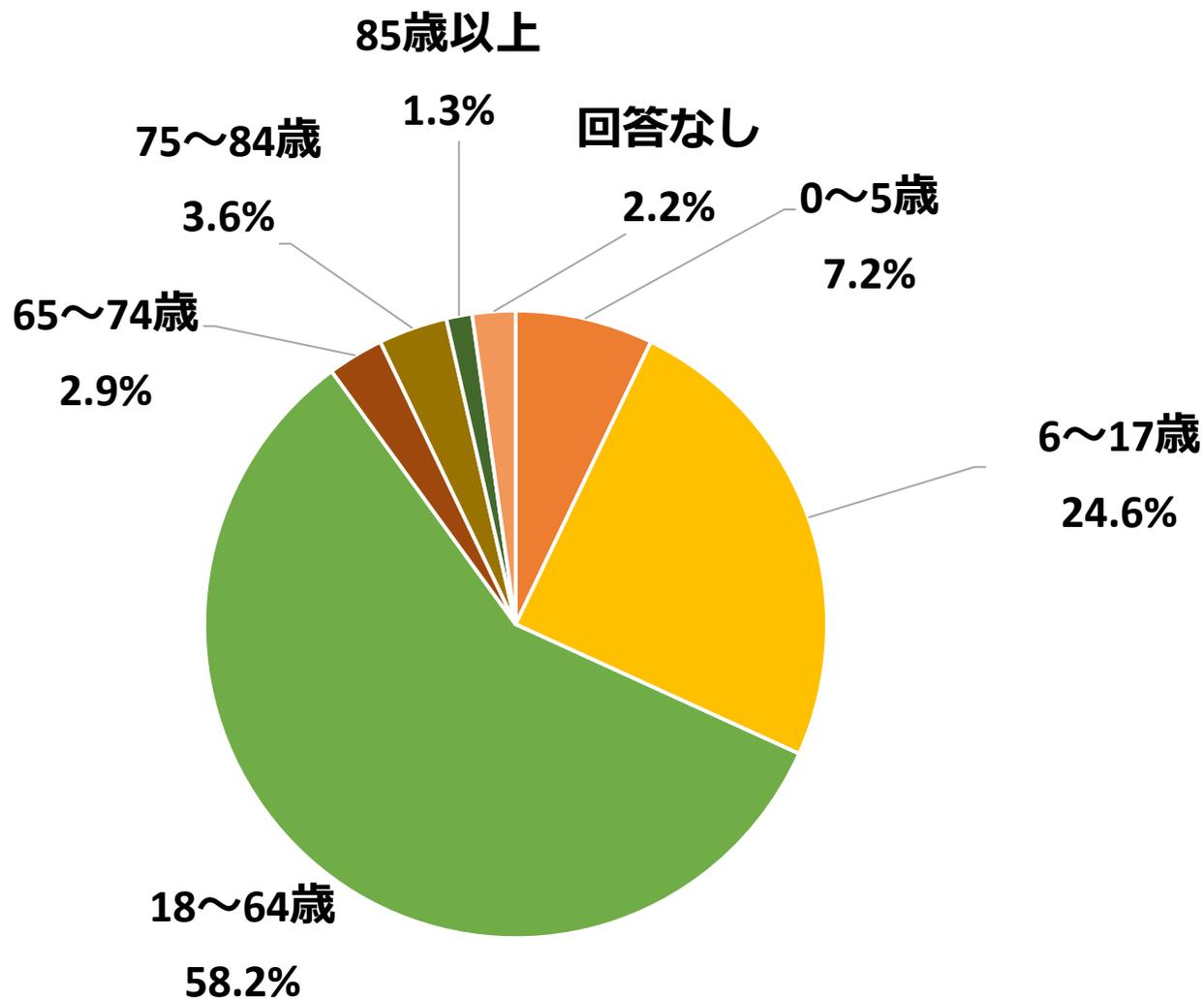
## (6) お世話を必要としている人の性別

- ・ お世話を必要としている人 (N=447) の性別をみると、「男性」が54.8%、「女性」が40.0%であった。



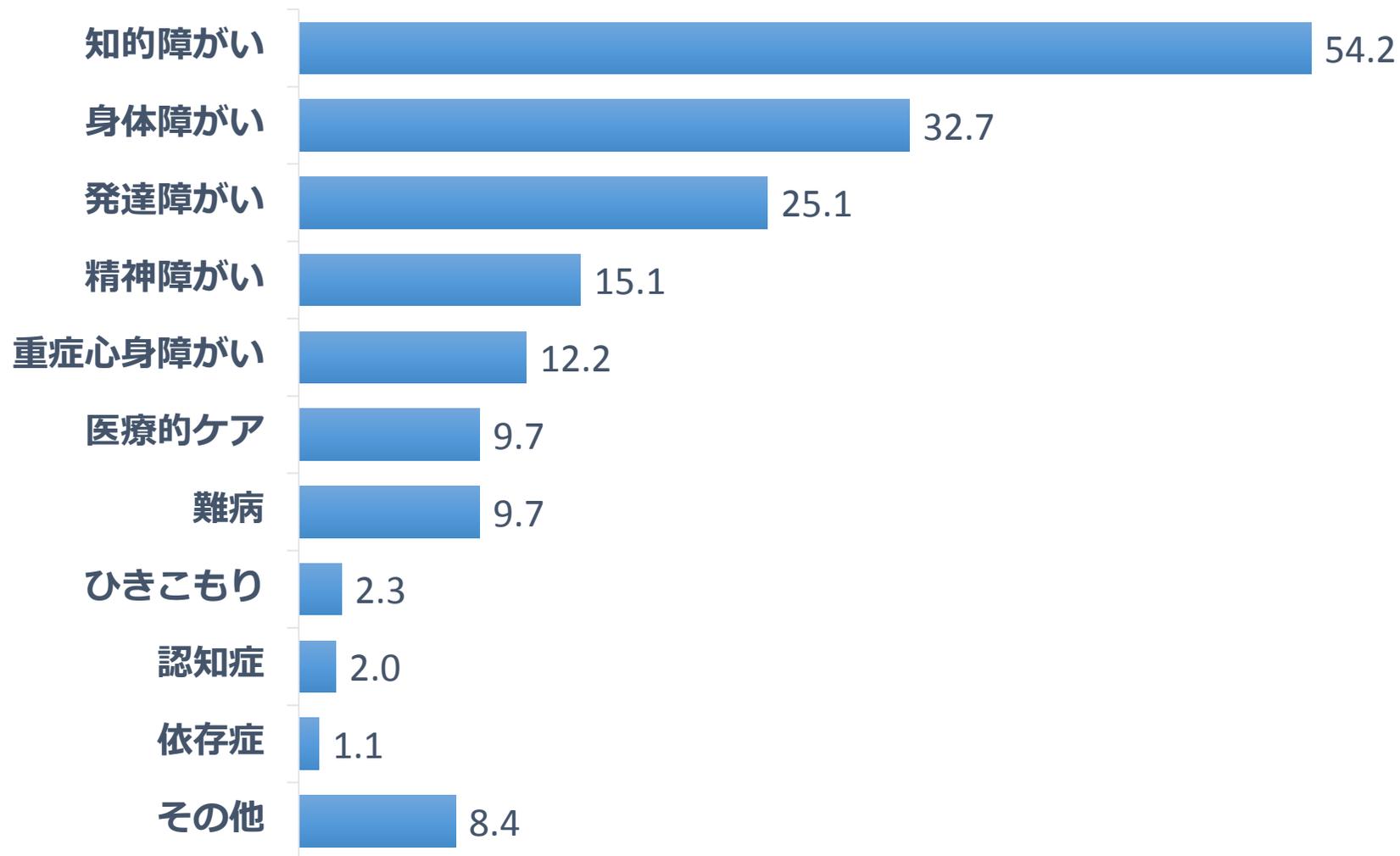
## (7) お世話を必要としている人の年齢

・ お世話を必要としている人 (N=447) の年齢をみると、「18～64歳」が58.2%で最も多く、次いで「6～17歳」が24.6%であった。



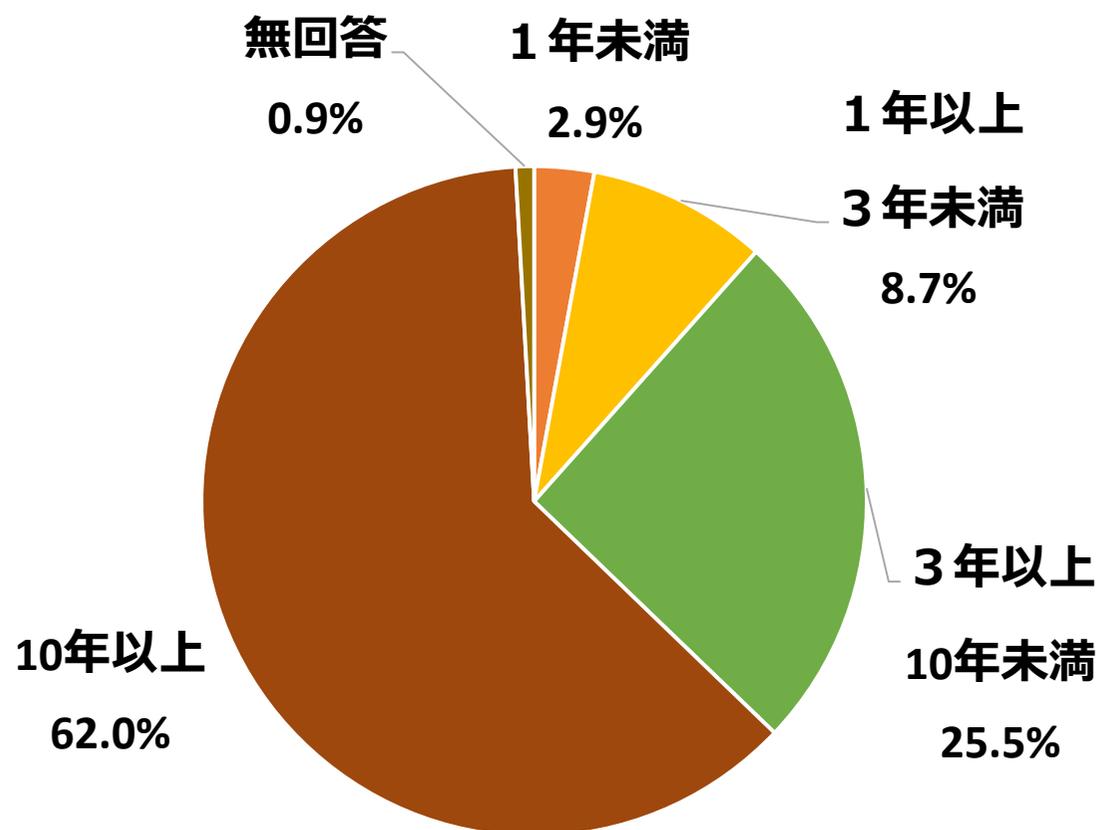
## (8) ケアが必要な理由 (複数回答)

・ケアが必要な理由 (N=443) をみると、「知的障がい」が54.2%で最も高く、次いで「身体障がい」が32.7%であった。



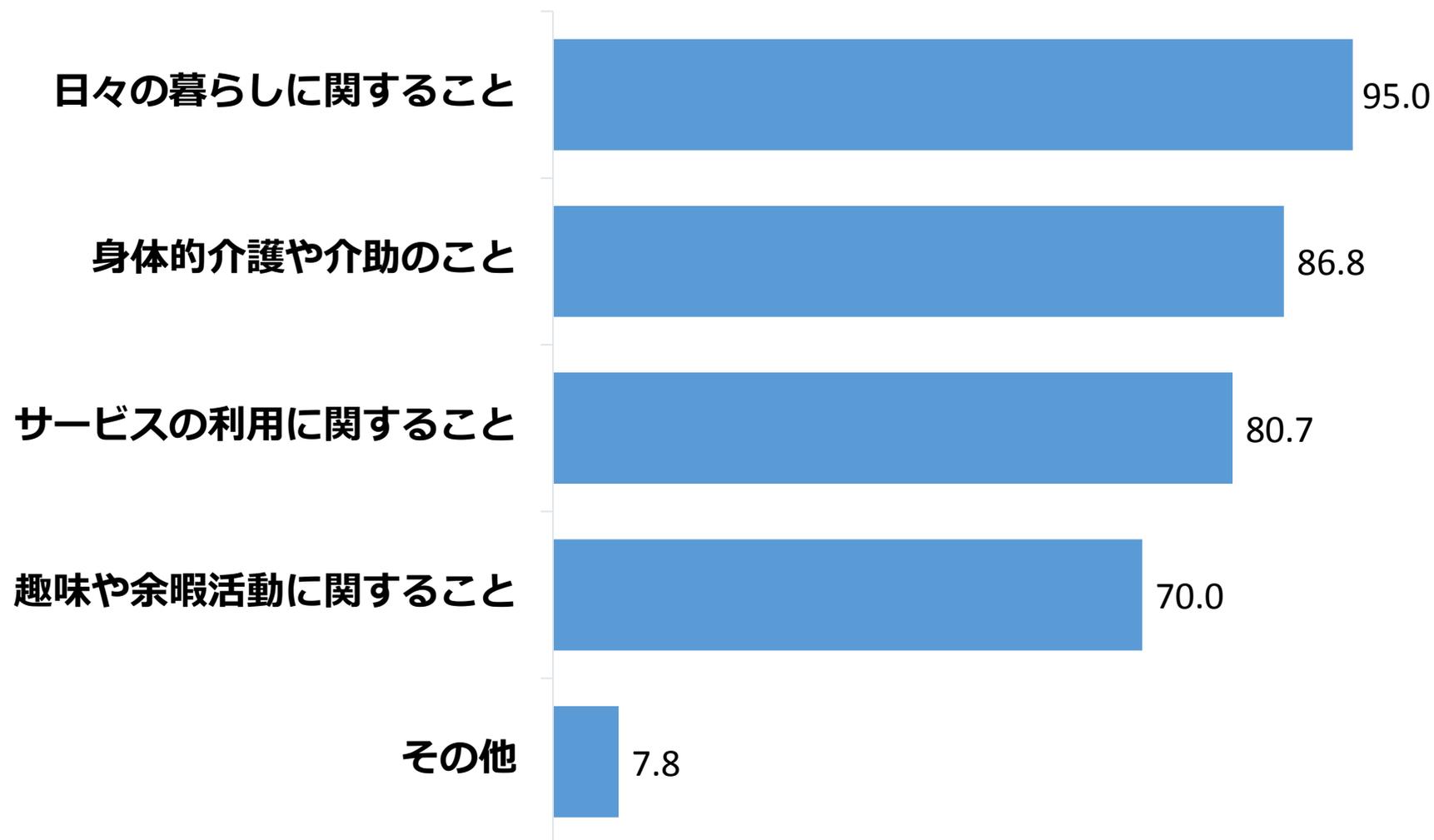
## (9) ケアの期間

・ケアの期間（N=447）をみると、「10年以上」が62.0%で最も高く、次いで「3年以上10年未満」が25.5%であった。



## (10-1) ケアの内容【分類別：複数回答】

・ケアの内容（N=424）を分類別にみると、「日々の暮らしに関すること」が95.0%で最も高く、次いで「身体的介護や介助に関すること」が86.8%であった。



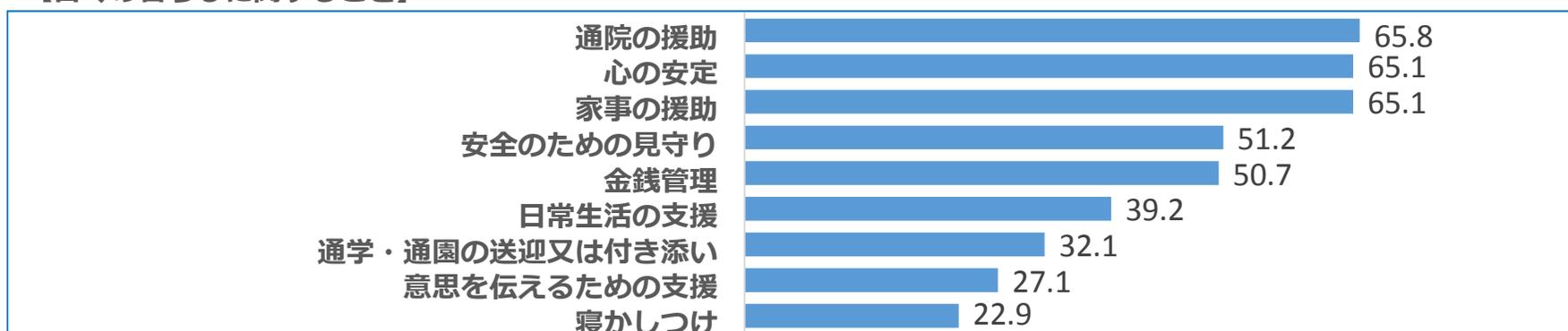
## (10-2) ケアの内容【選択肢別：複数回答】

・ケアの内容（N=424）を選択肢別にみると、「体調の管理」が72.6%で最も高く、次いで「日常生活の介護や介助」が69.1%であった。

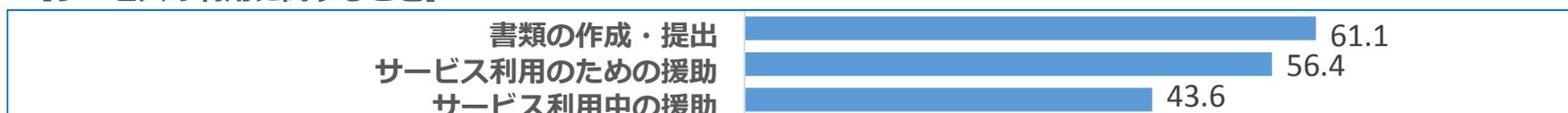
### 【身体的介護や介助のこと】



### 【日々の暮らしに関すること】



### 【サービスの利用に関すること】

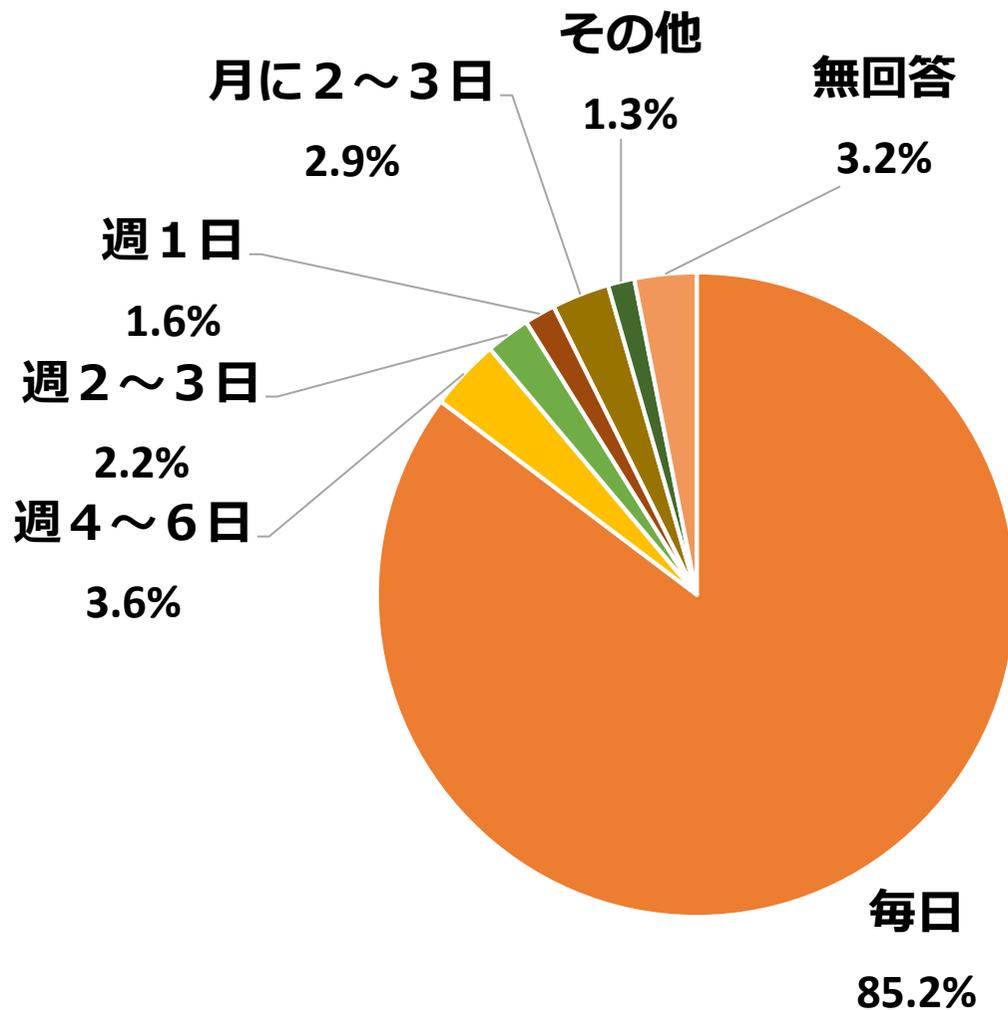


### 【趣味や余暇活動に関すること】



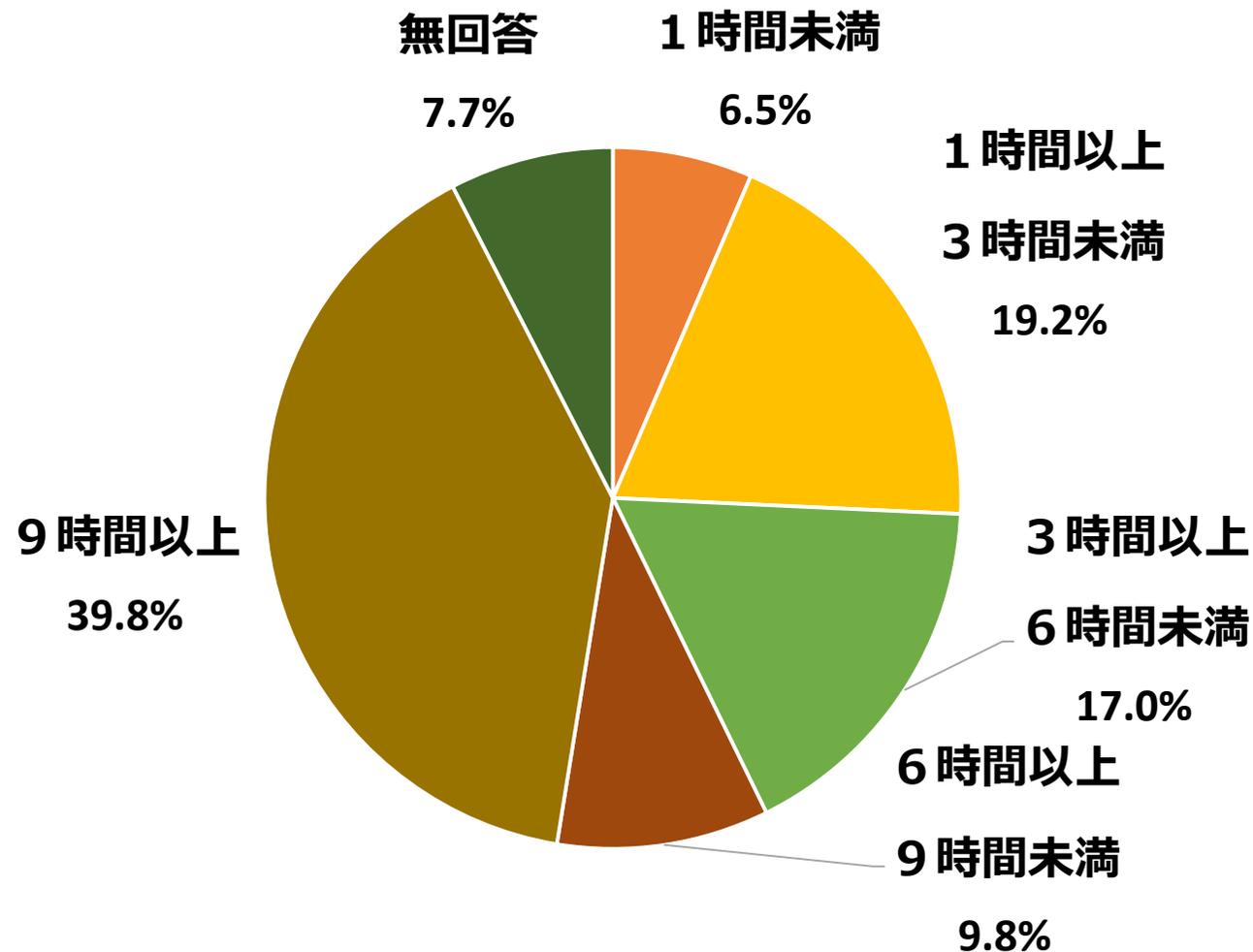
## (11) ケアの頻度

・ケアの頻度（N=447）をみると、「毎日」が85.2%で最も高く、次いで「週4～6日」が3.6%であった。



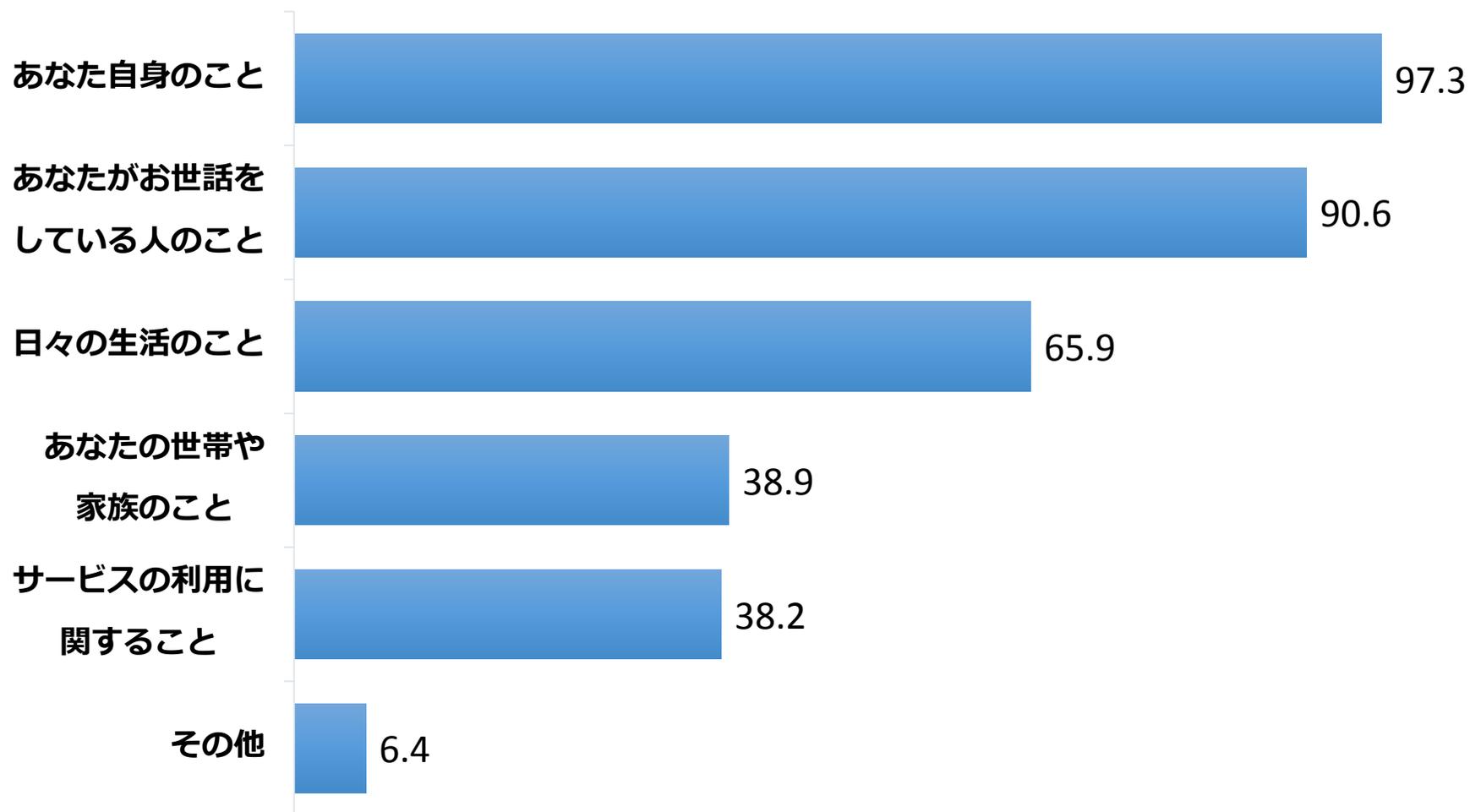
## (12) 1日あたりのケアにかかる時間

・ 1日あたりのケアにかかる時間（N=447）をみると、「9時間以上」が39.8%で最も高く、次いで「1時間以上3時間未満」が19.2%であった。



### (13-1) ケアラー自身の悩み【分類別：複数回答】

・ケアラーの悩み（N=437）を分類別にみると、「あなた自身のこと」が97.3%で最も高く、次いで「あなたがお世話をしている人のこと」が90.6%であった。

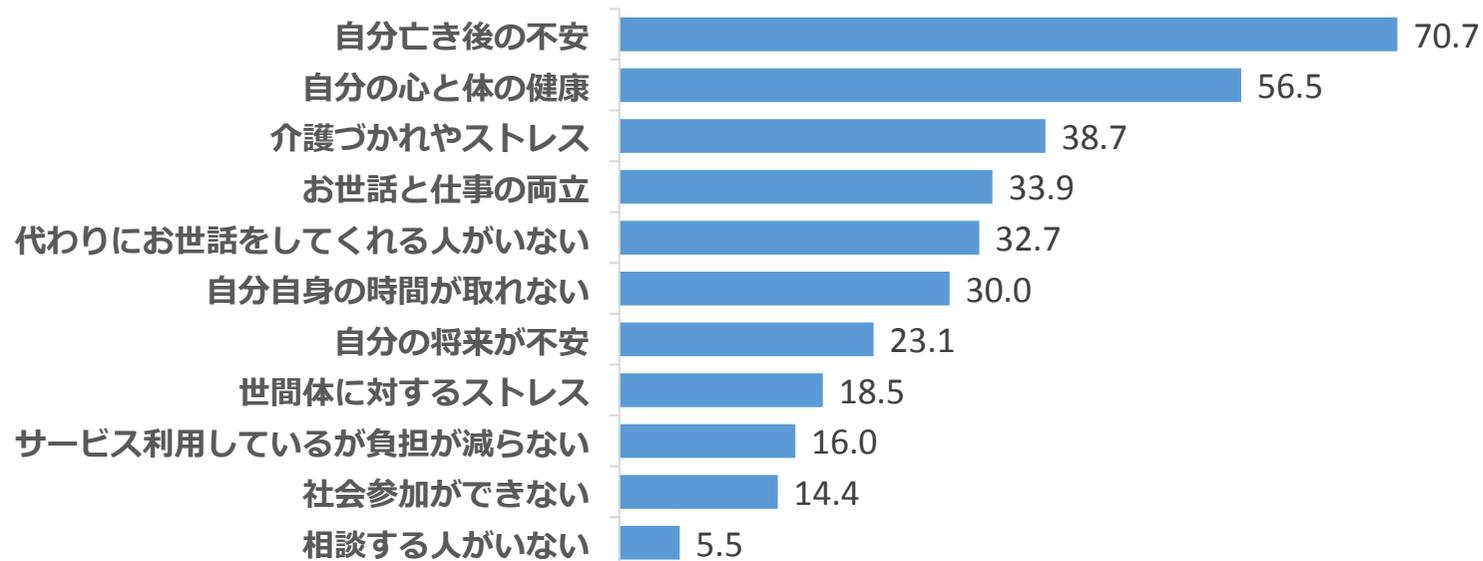




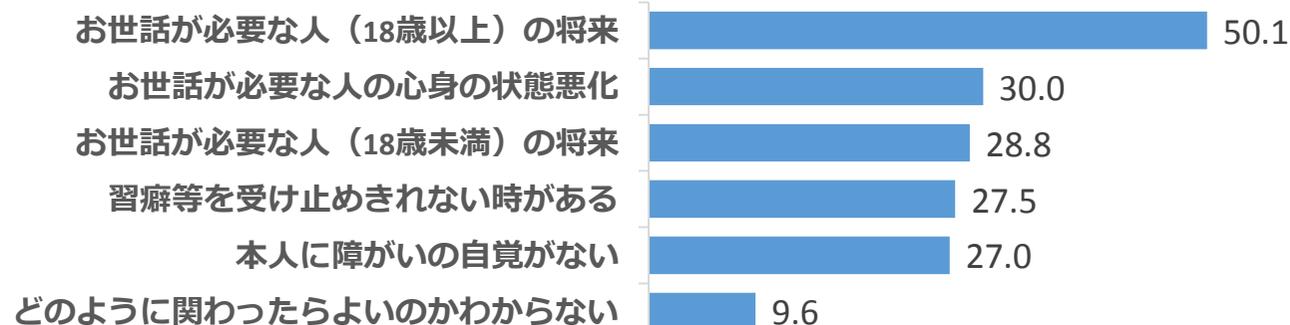
## (13-2) ケアラー自身の悩み（選択肢別：複数回答）

・ケアラーの悩み（N=437）を選択肢別にみると、「自分亡き後の不安」が70.7%で最も高く、次いで「自分の健康」が56.5%であった。

### 【あなた自身のこと】



### 【あなたがお世話をしている人のこと】



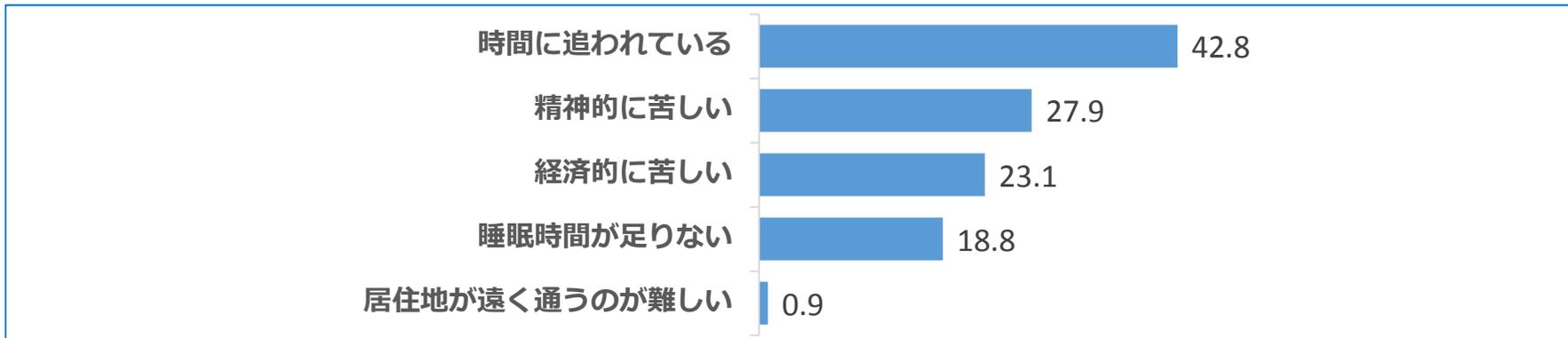
【サービスの利用に関すること】



【あなたの世帯や家族のこと】

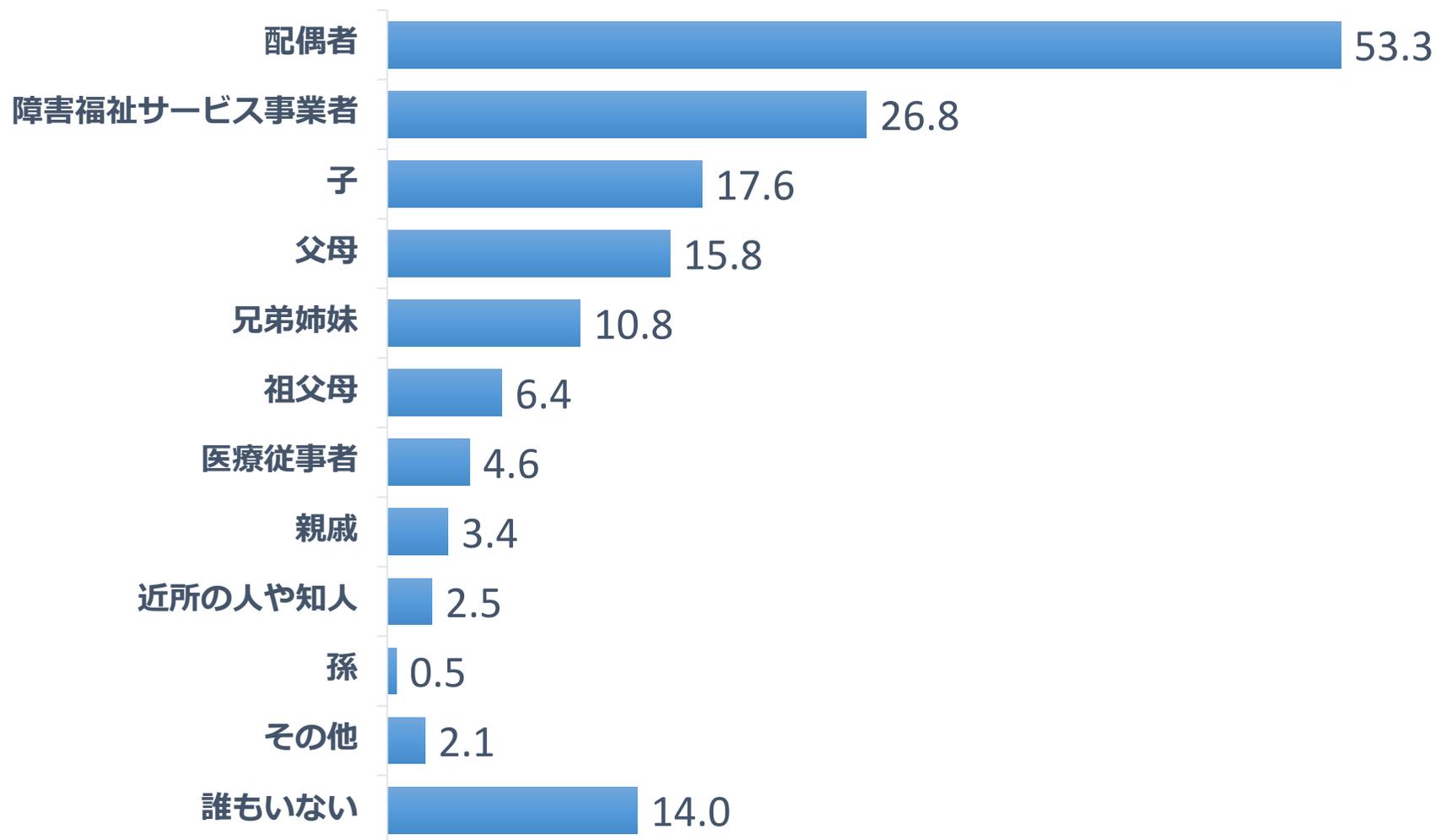


【日々の生活のこと】



## (14) 緊急時等に代わりにケアをしてくれる人の有無（複数回答）

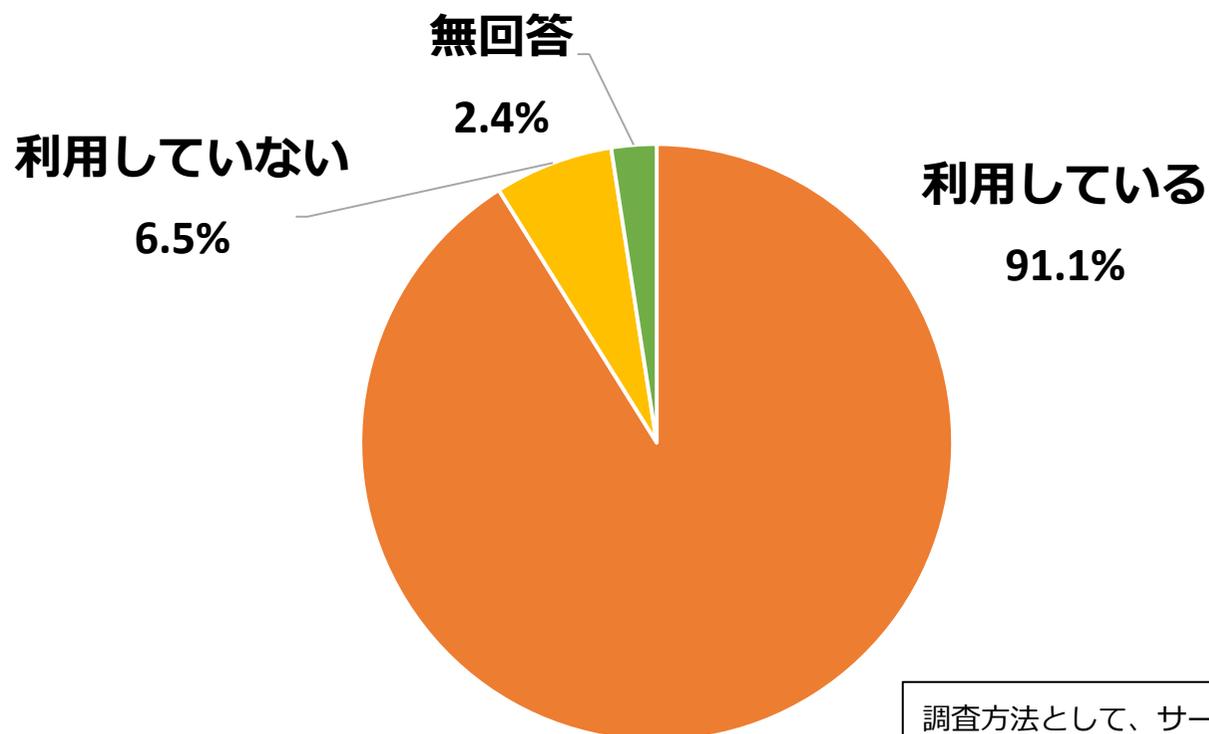
・ 緊急時などに代わりにケアをしてくれる人（N=437）をみると、「配偶者」が53.3%で最も高く、次いで「障害福祉サービス事業者」が26.8%であった。



### 3 サービスの利用状況など

#### (15) お世話を必要としている人の公的サービス利用の有無

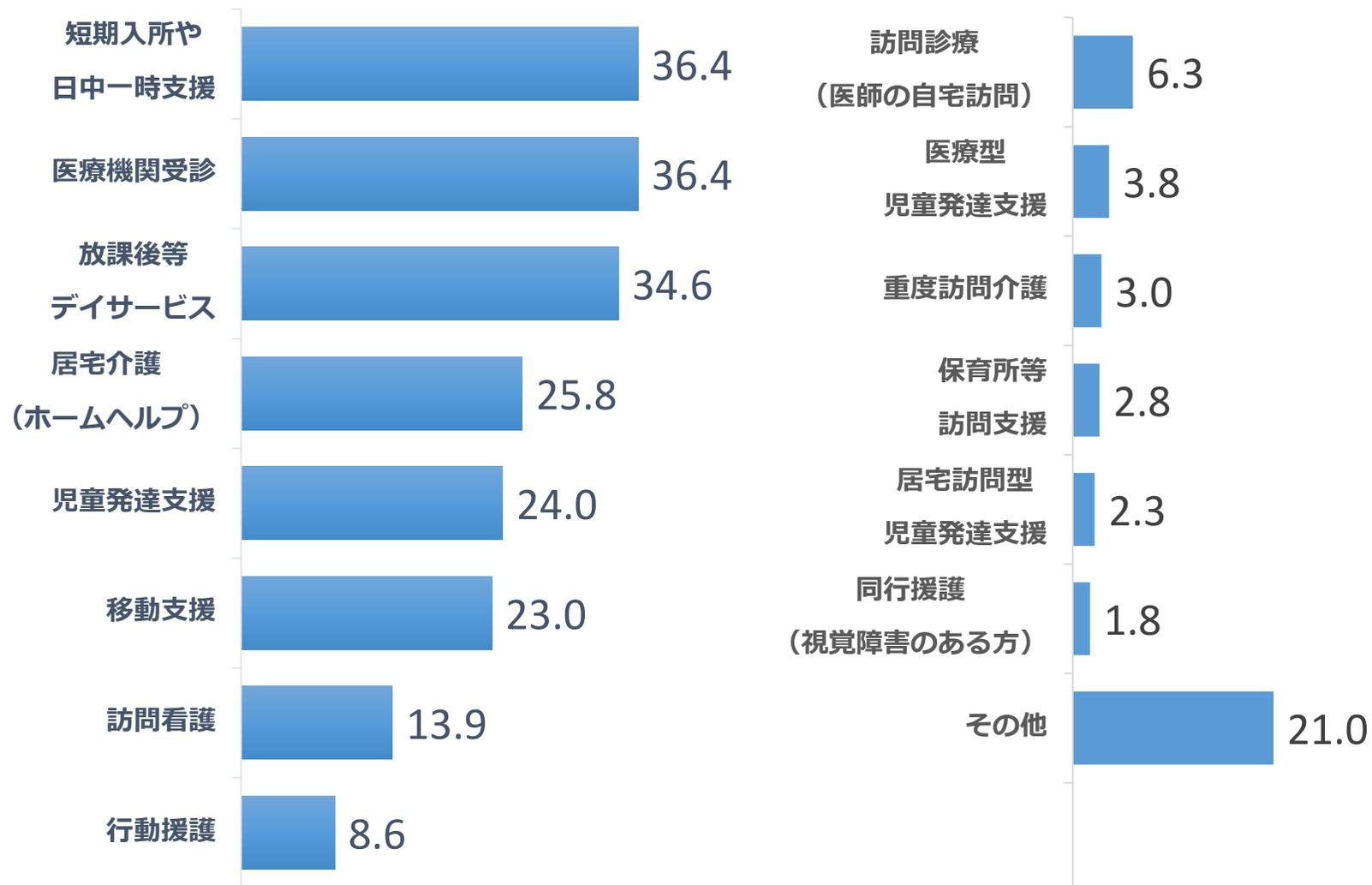
・ サービス利用（N=447）の状況を見ると、「利用している」が91.1%、「利用していない」が6.5%であった。



調査方法として、サービス利用計画を作成する特定相談支援事業所に関わりのある方へ回答を依頼している。

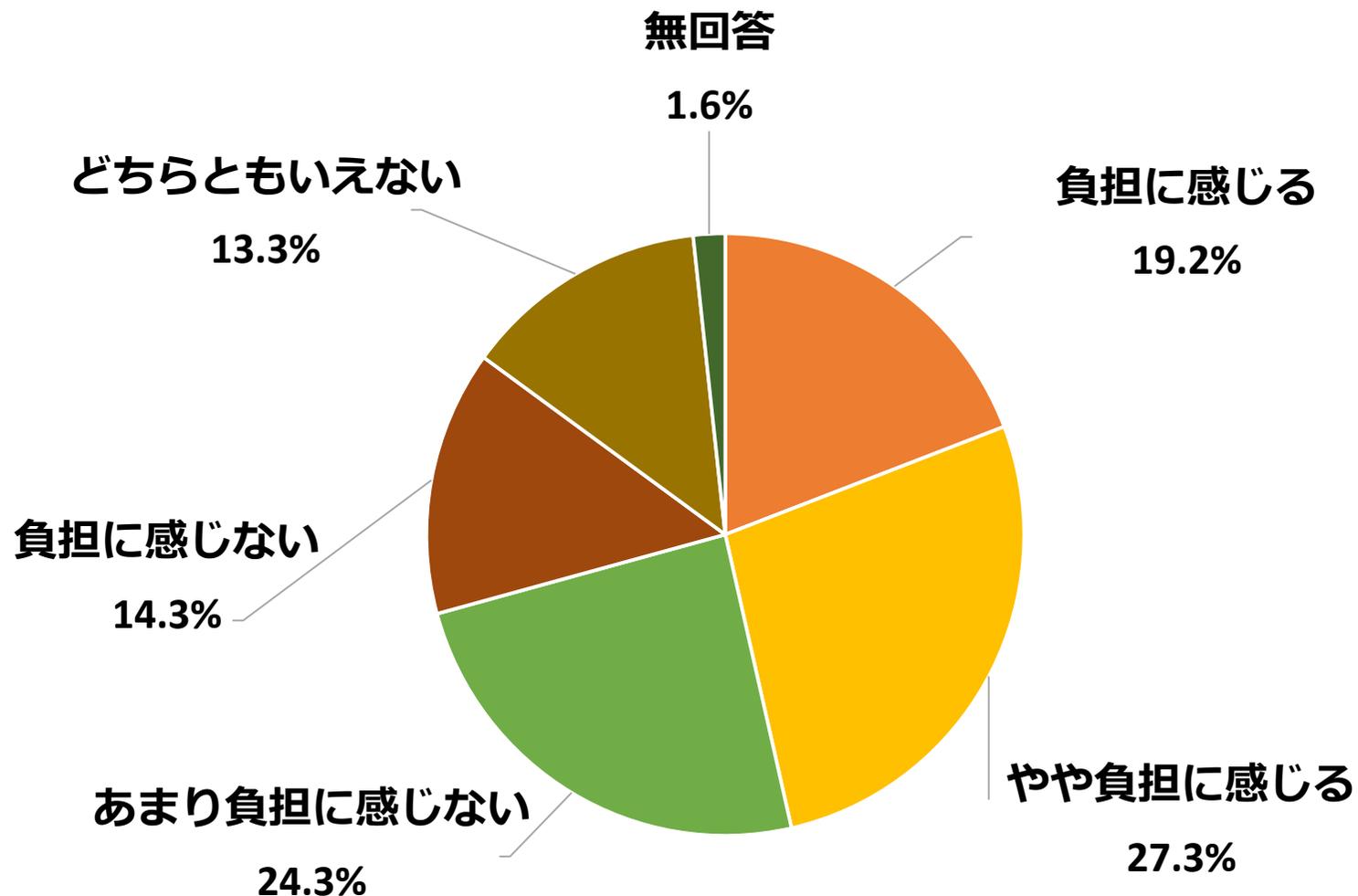
## (16) 利用しているサービス（複数回答）

・利用しているサービス（N=396）の状況を見ると、「短期入所や日中一時支援」と「医療機関受診」が36.4%で、同率で最も高かった。



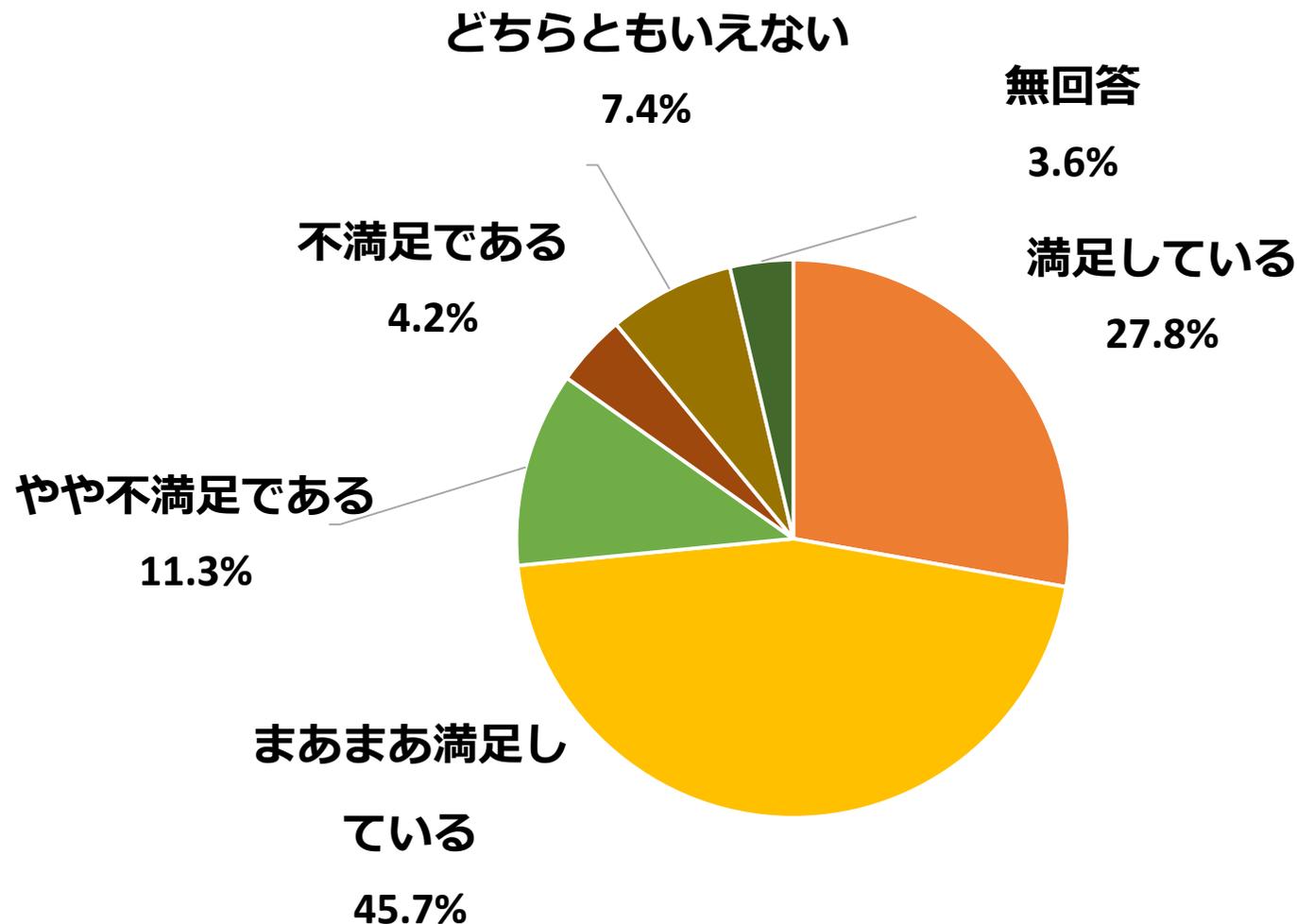
## (17) サービス利用料に関する負担感

・ サービス利用料の負担感 (N=407) をみると、「やや負担を感じる」が27.3%で最も高く、次いで「あまり負担に感じない」が24.3%であった。



## (18) 現在利用している公的サービスの満足感

・サービスの満足感（N=407）をみると、「まあまあ満足している」が45.7%で最も高く、次いで「満足している」が27.8%であった。



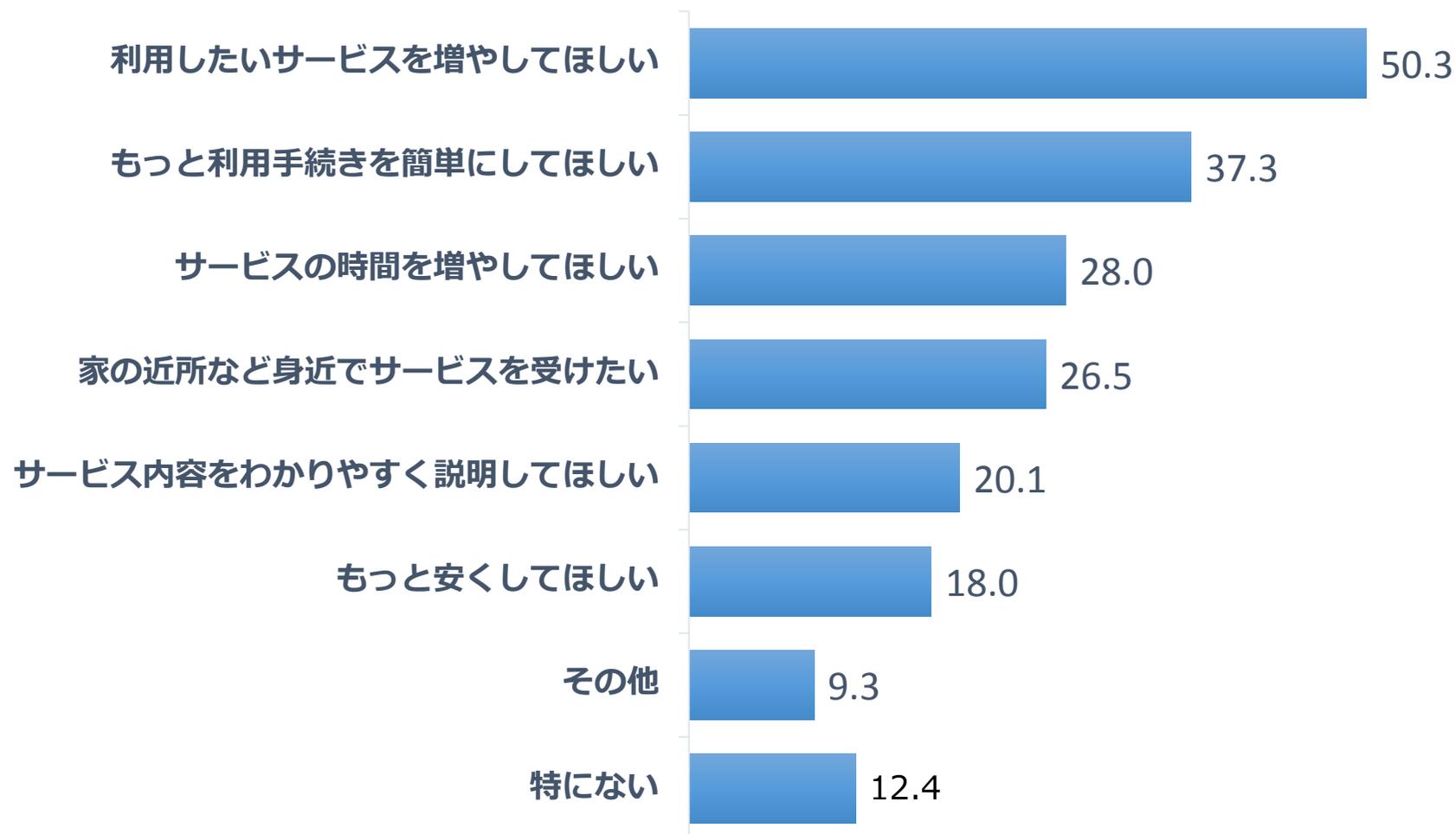
## (19) サービス利用のきっかけ（複数回答）

・ サービス利用のきっかけ（N=391）の状況を見ると、「相談支援事業所や保健師が利用を勧めた」が33.8%で最も高く、次いで「あなた（ケアラー本人）が利用を勧めた」が32.0%であった。



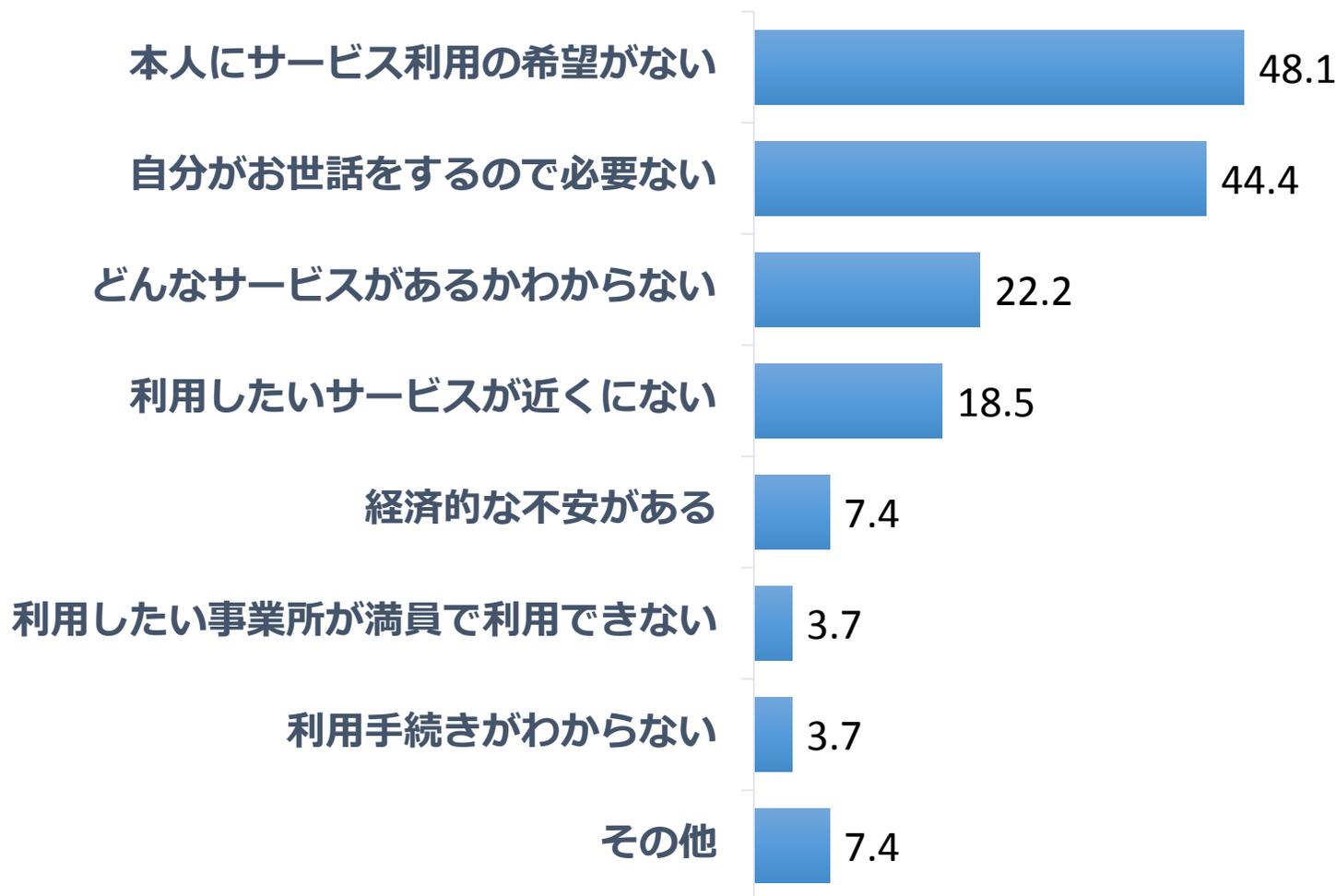
## (20) サービス利用にあたり必要な配慮（複数回答）

・ サービス利用に必要な配慮（N=378）をみると、「利用したいサービスを増やす」が50.3%で最も高く、次いで「もっと利用手続きを簡単に」が37.3%であった。



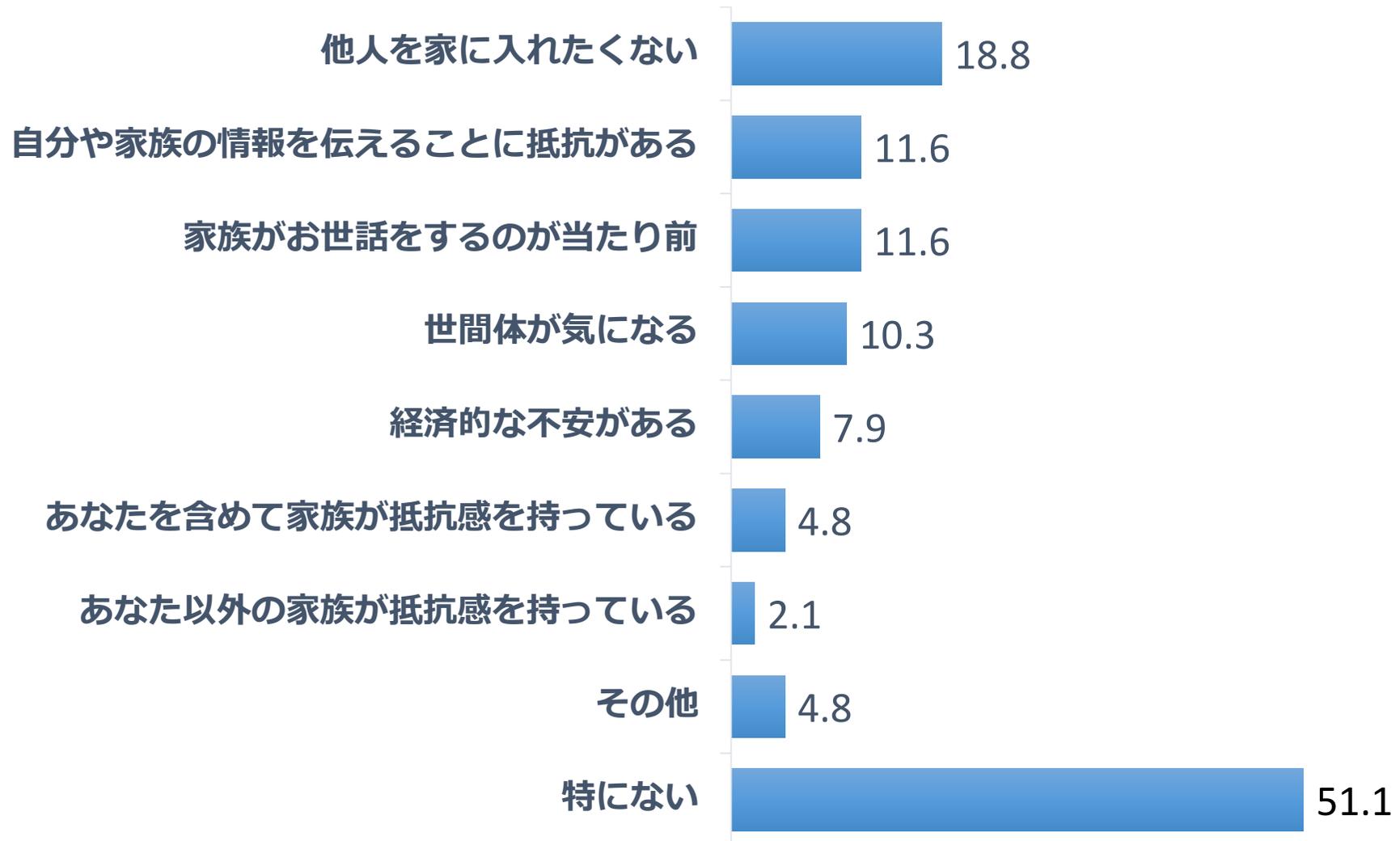
## (21) サービスを利用していない理由（複数回答）

・ サービスを利用していない理由（N=27）をみると、「本人にサービス利用の希望がない」が48.1%で最も高く、次いで「自分がお世話をするので必要ない」が44.4%であった。



## (22) サービス利用の抵抗感（複数回答）

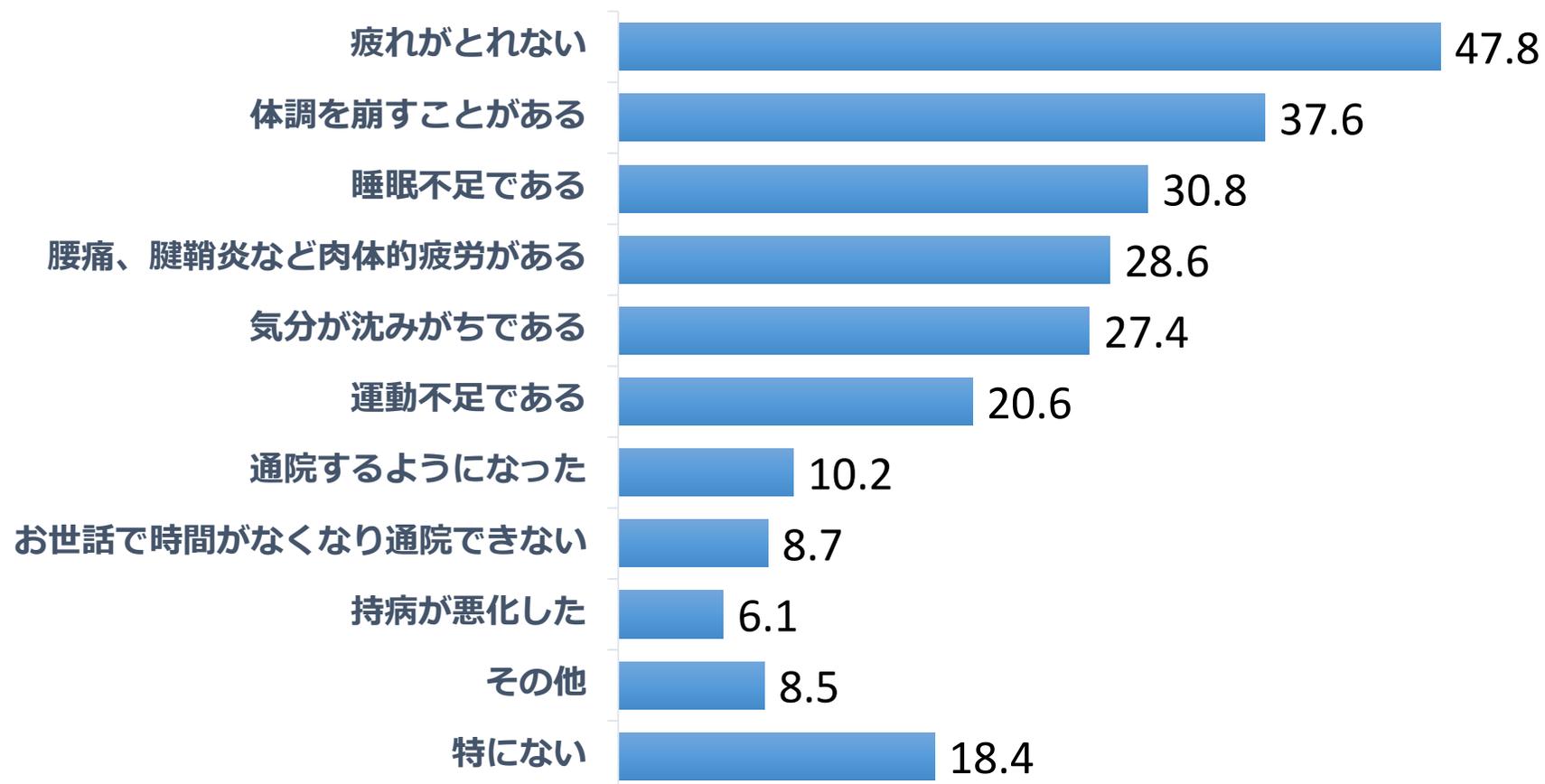
・ サービス利用の抵抗感（N=378）をみると、「特にない」が51.1%で最も高く、次いで「他人を家に入れたくない」が18.8%であった。



## 4 ケアラーの生活状況

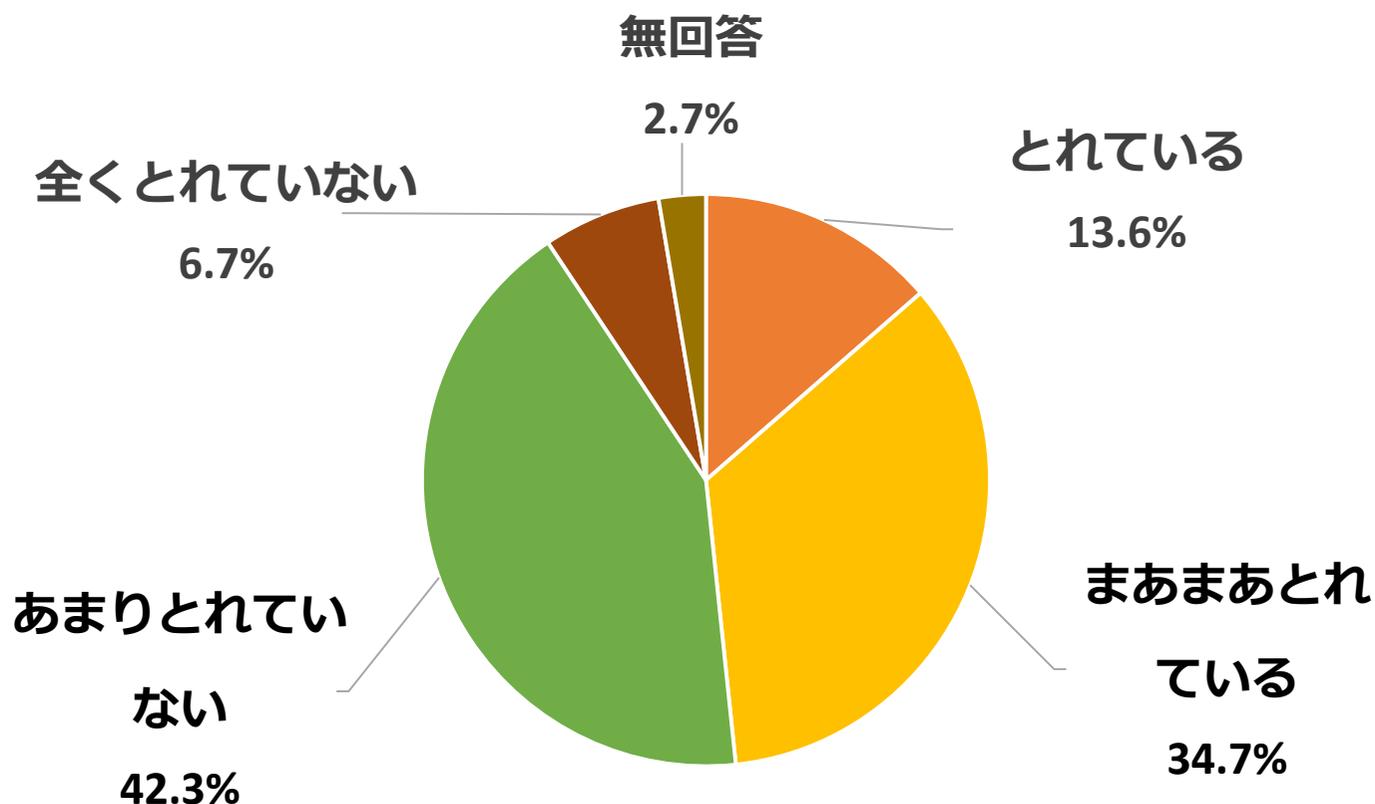
### (23) ケアをすることによる健康状態への影響（複数回答）

・ケアをすることによる健康状態への影響（N=412）をみると、「疲れがとれない」が47.8%で最も高く、次いで「体調を崩すことがある」が37.6%であった。



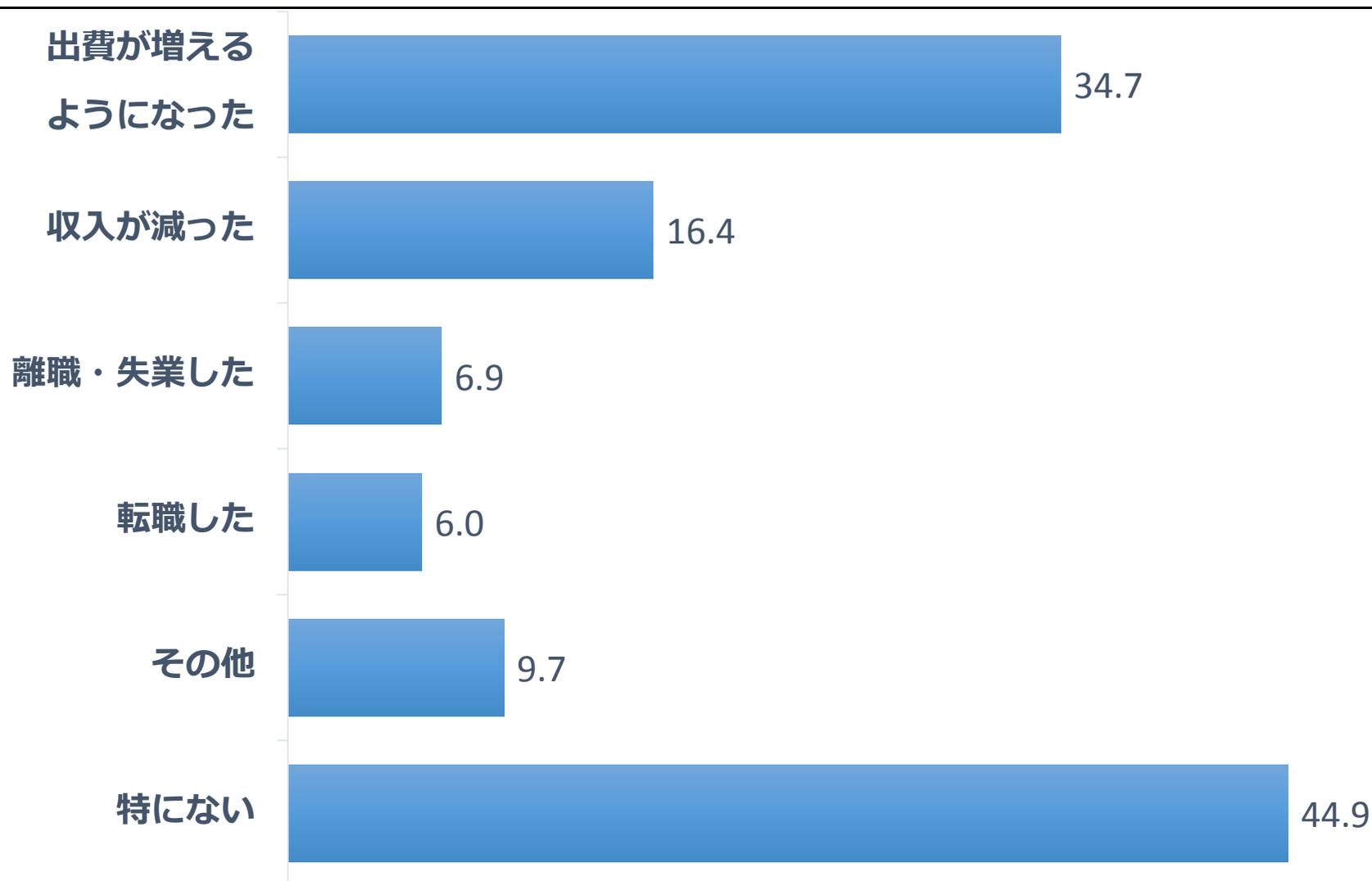
## (24) 趣味や休息など自分のための時間

・自分のための時間がとれているか (N=447) をみると、「あまりとれていない」が42.3%で最も高く、次いで「まあまあとれている」が34.7%であった。



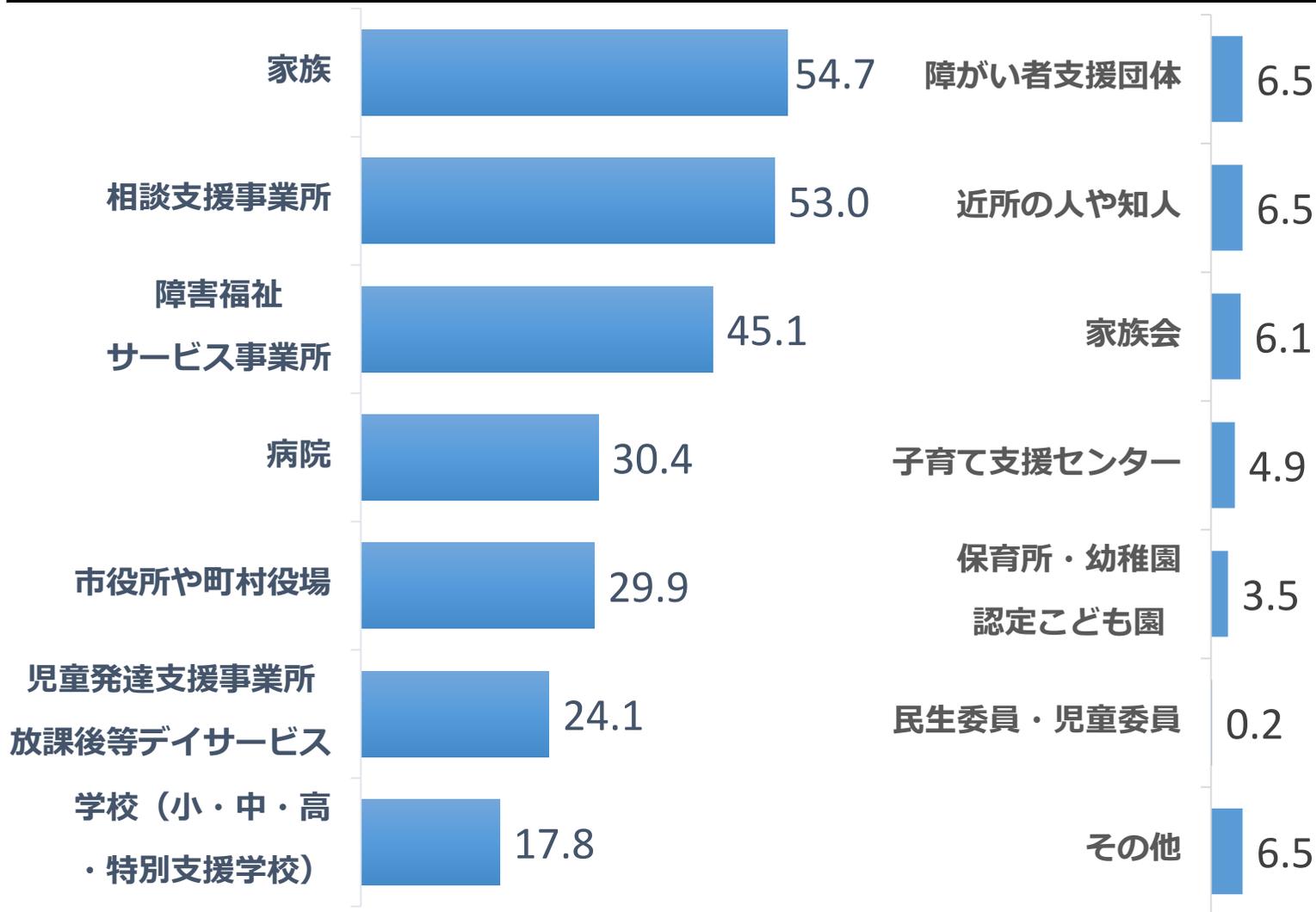
## (25) ケアをすることによる生活への影響（複数回答）

・ケアをすることによる生活への影響（N=403）をみると、「特にない」が44.9%で最も高く、次いで「出費が増えるようになった」が34.7%であった。



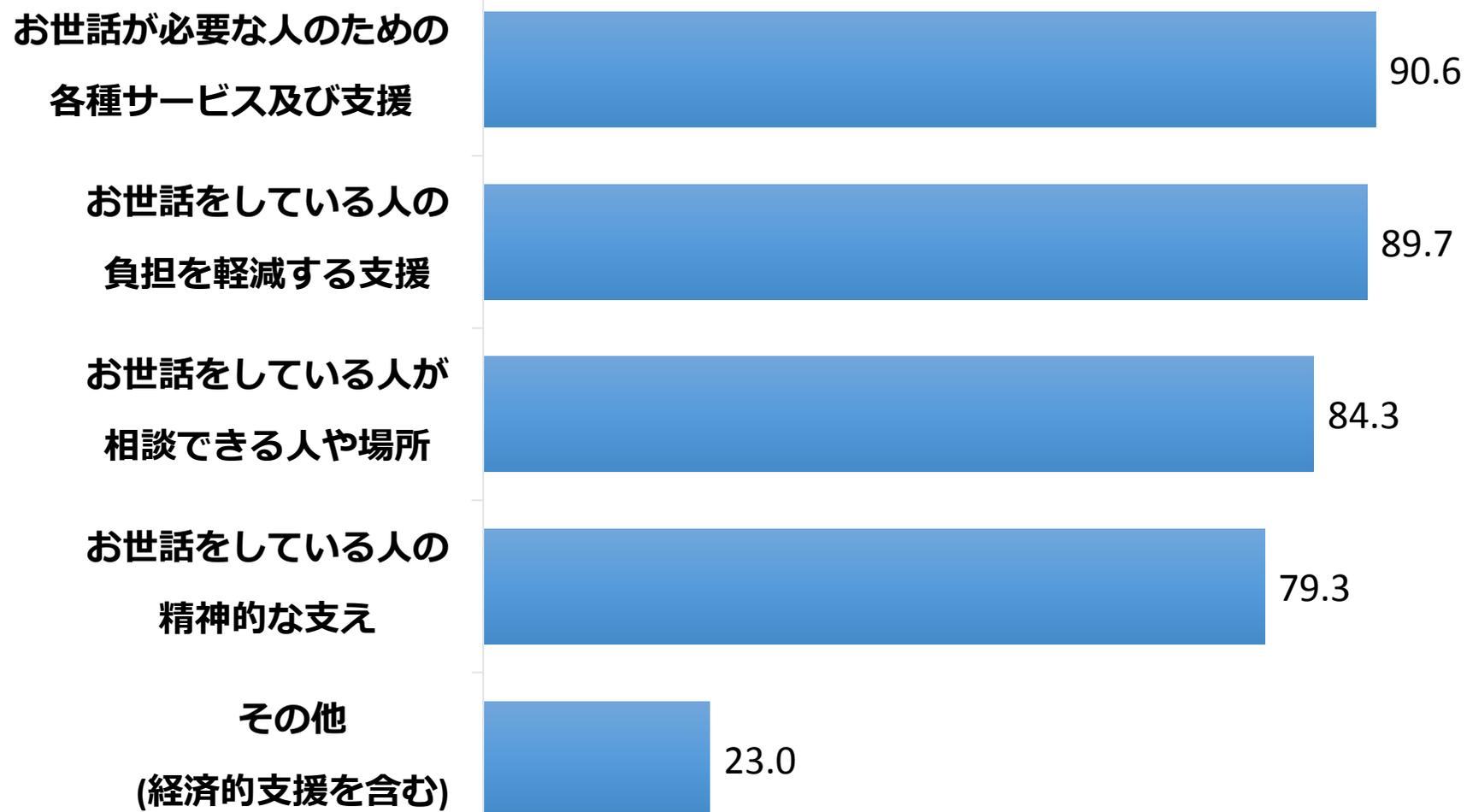
## (26) ケアラーの相談先（複数回答）

・ケアラーの相談先（N=428）の状況を見ると、「家族」が54.7%で最も高く、次いで「相談支援事業所」が53.0%であった。



## (27-1) ケアラーが求めている支援【分類別：複数回答】

・必要な支援（N=426）の状況を分類別にみると、「お世話が必要な人のための各種サービス及び支援」が90.6%で最も高く、次いで「お世話をしている人の負担を軽減する支援」が89.7%であった。



## (27-2) ケアラーが求めている支援【選択肢別：複数回答】

・必要な支援（N=426）の状況を選択肢別にみると、「代わりにお世話をしてくれる人の確保」が67.4%で最も高く、次いで「いろいろな制度に詳しい職員」が65.7%であった。

### 【お世話が必要な人のための各種サービスによる支援】



### 【お世話をしている人の負担を軽減する支援】



### 【お世話をしている人が相談できる人や場所】



### 【お世話をしている人の精神的な支え】



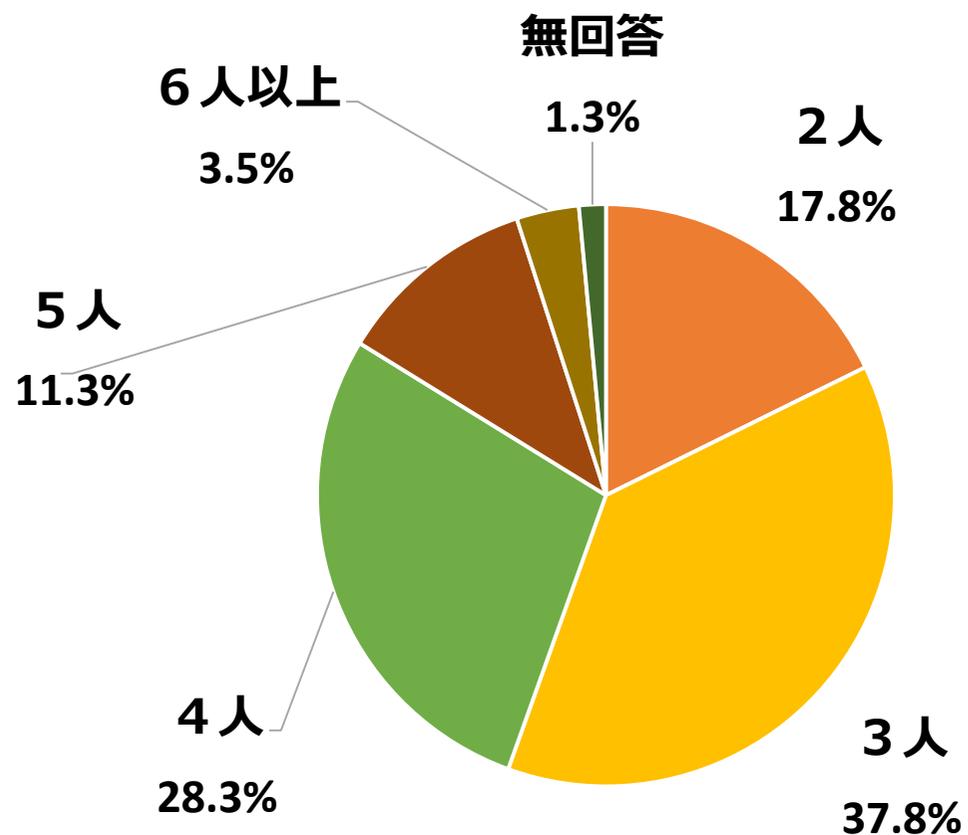
### 【その他】



## (29) ケアラーの世帯の人数

### (ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合)

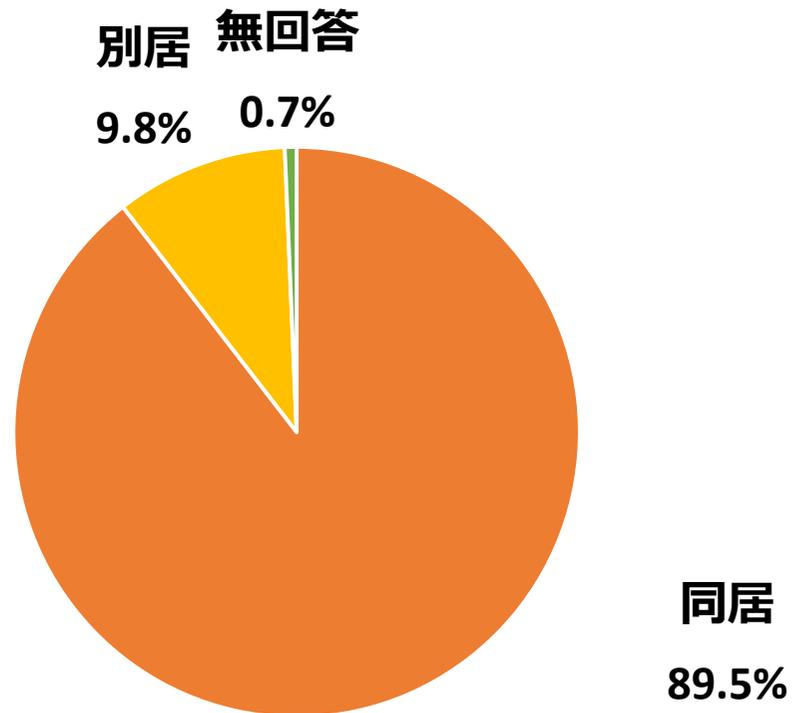
・ お世話を必要としている人と同居しているケアラーの世帯の人数 (N=400) をみると、「2人」が37.8%で最も高く、次いで「3人」が28.3%であった。



## 5 ケアラーの家族

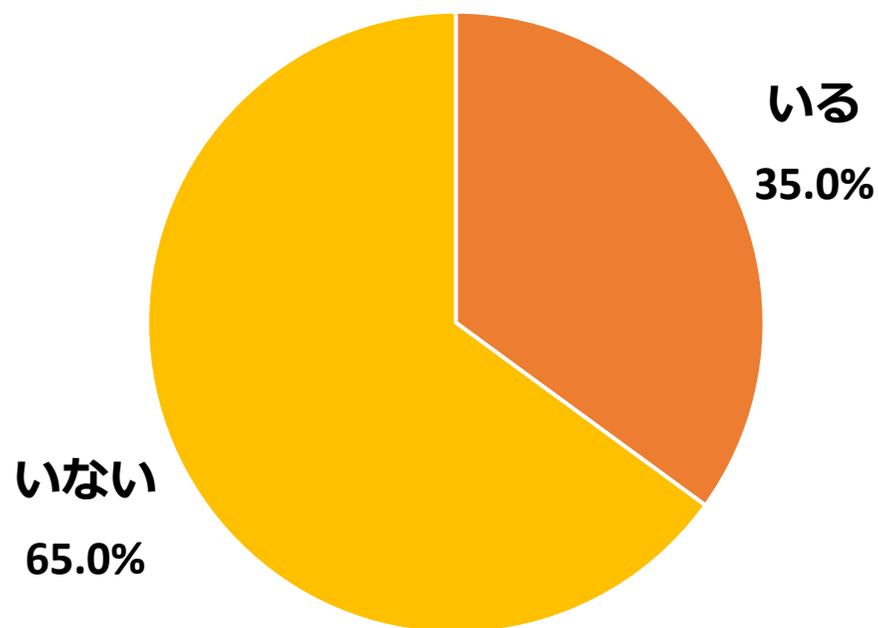
### (28) お世話を必要としている人との同居・別居

・ お世話を必要としている人との同居・別居（N=447）の状況を見ると、「同居」が89.5%で、「別居」が9.8%であった。



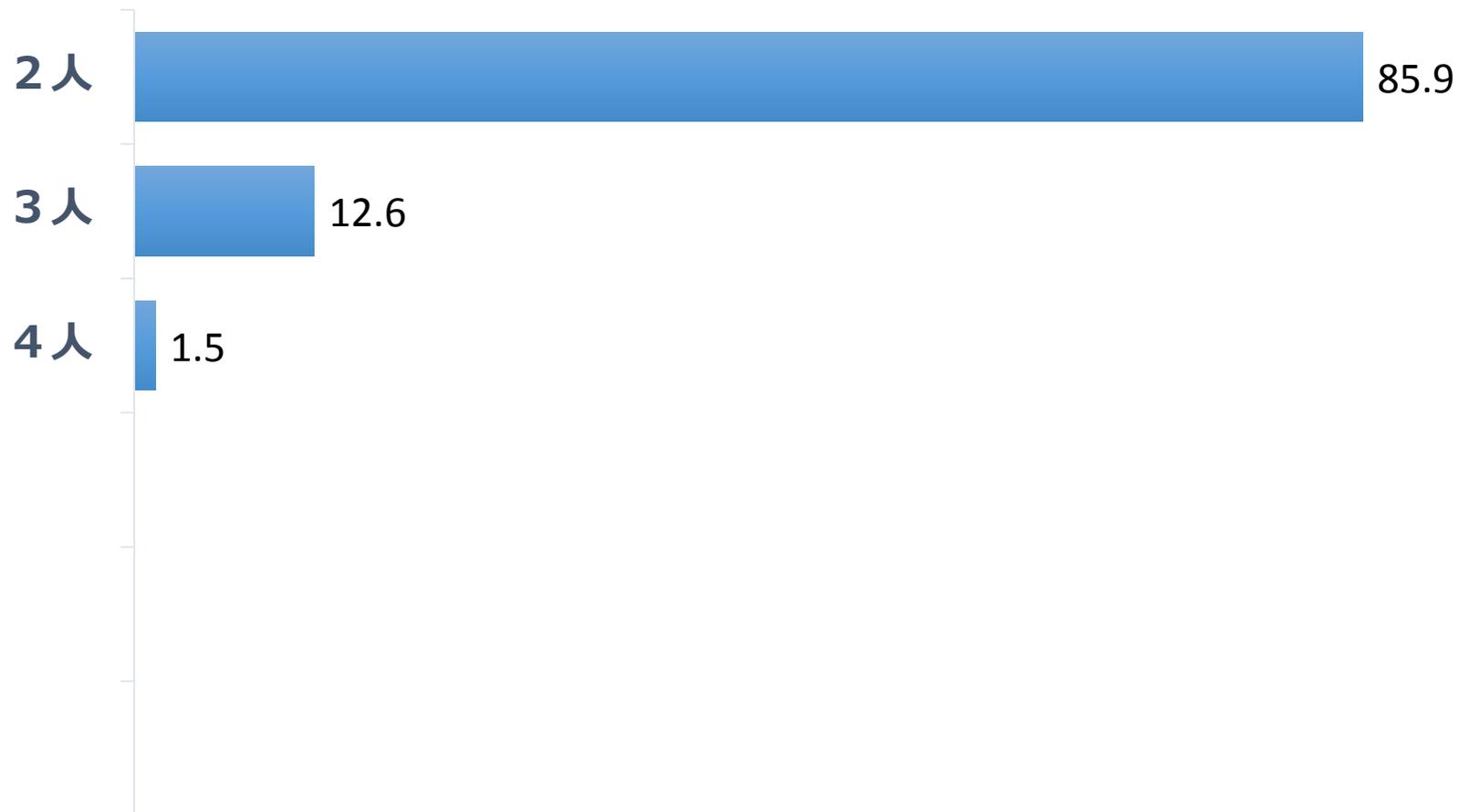
### (30-1) ケアをしている人は2人以上いるか (ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合)

・ お世話を必要としている人と同居しているケアラー（N=400）のうち、2人以上ケアしている者は35.0%であった。



## (30-2) ケアラーが複数の人をケアしている場合の人数 (ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合)

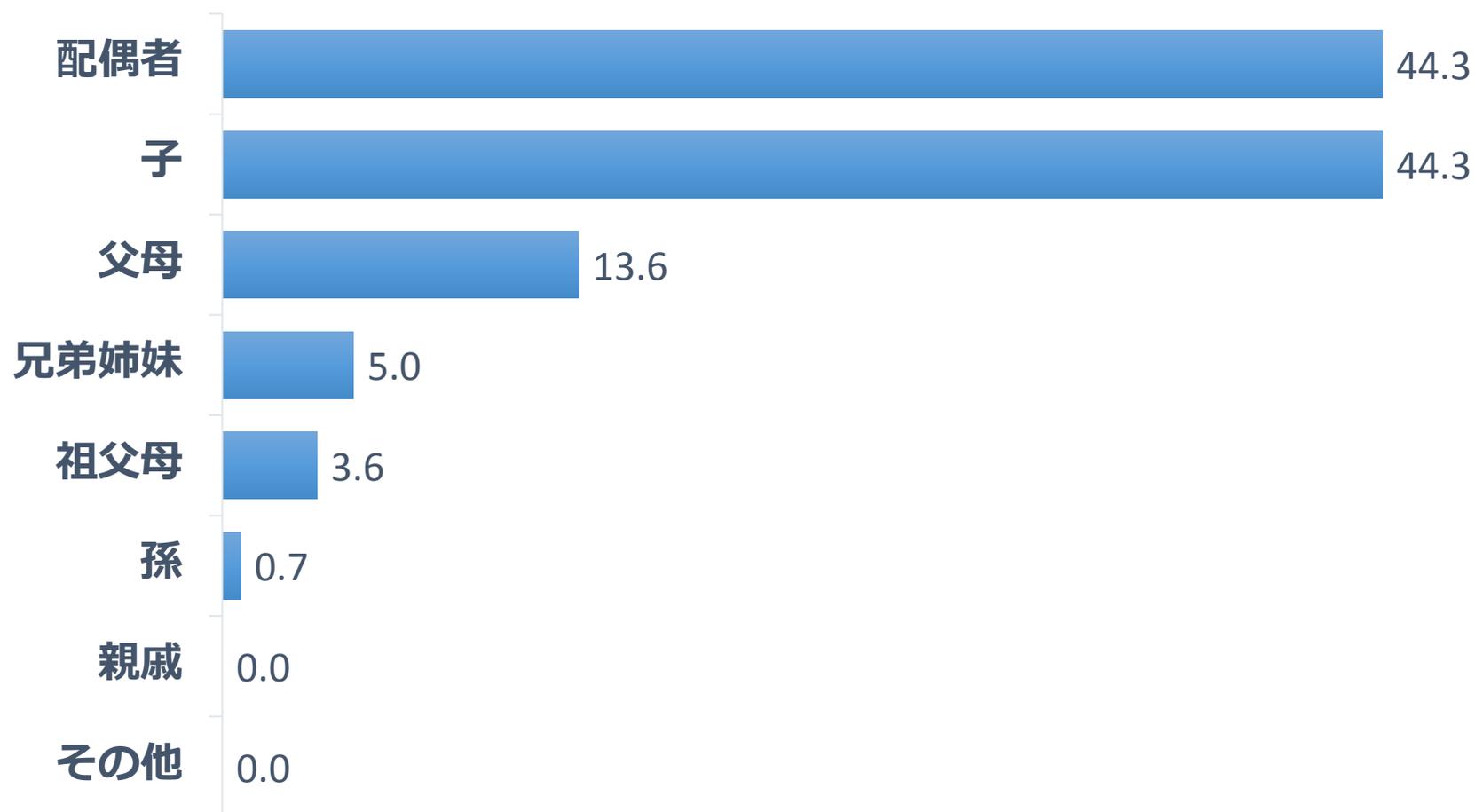
・ お世話を必要としている人と同居し、かつ、複数の人をケアしているケアラー (N=135) がケアしている人数をみると、「2人」が85.9%で最も高く、次いで「3人」が12.6%であった。



### (30-3) ケアラーが複数の人をケアしている場合のその人との関係

#### (ケアラーがお世話を必要としている人と同居の場合：複数回答)

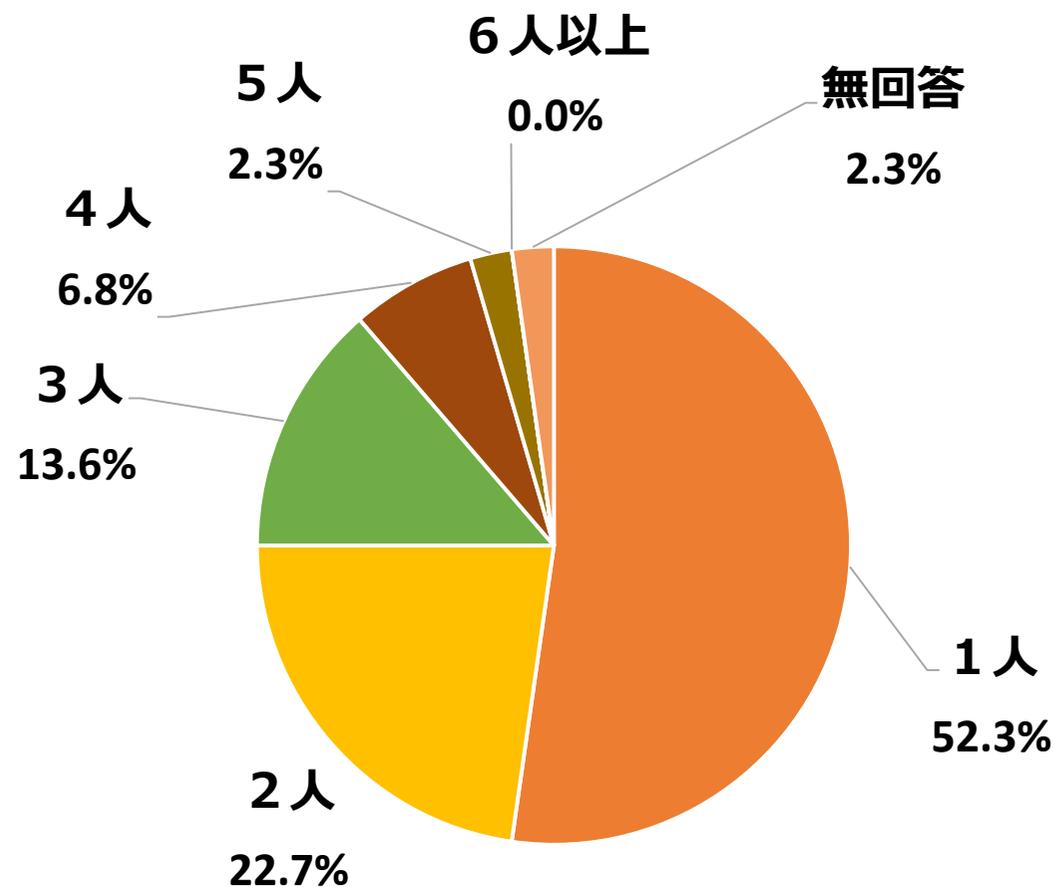
・ お世話を必要としている人と同居し、かつ、複数の人をケアしているケアラー (N=140) がケアしている人との関係を見ると、「配偶者」と「子」が44.3%で最も高く、同率であった。



### (31) ケアラーの世帯の人数

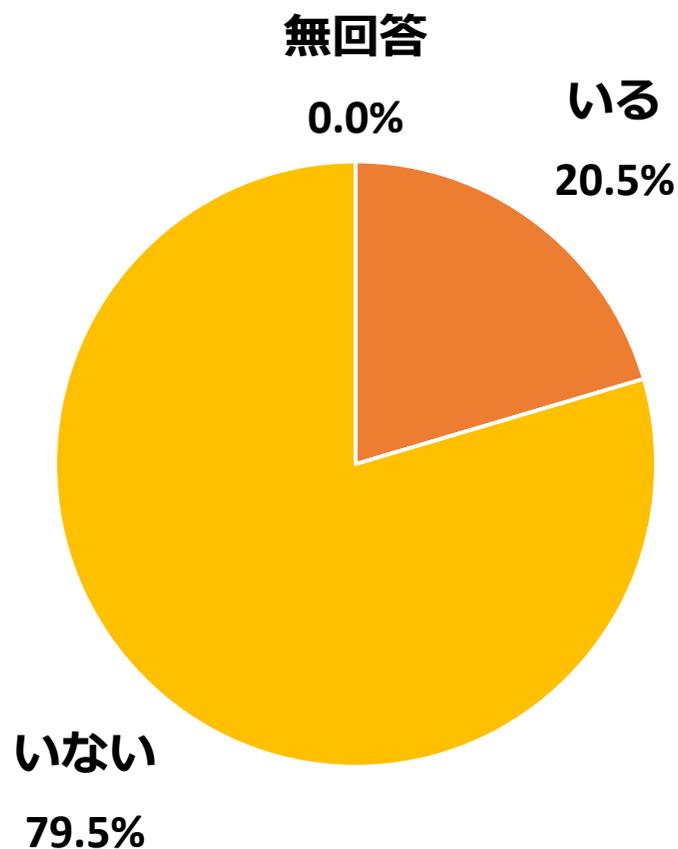
#### (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合)

・ お世話を必要としている人と別居しているケアラーの世帯の人数 (N=44) をみると、「1人」が52.3%で最も高く、次いで「2人」が22.7%であった。



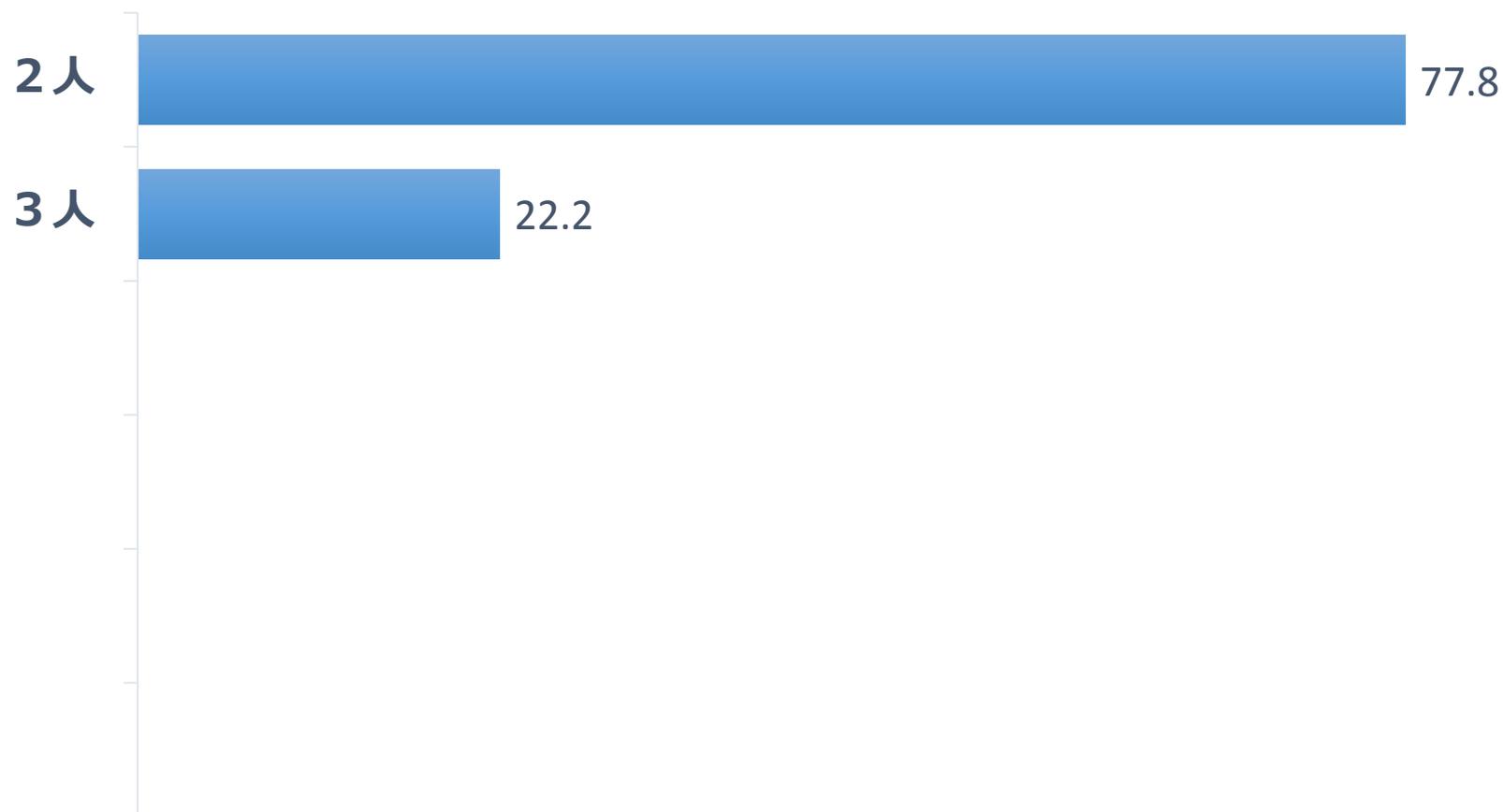
### (32-1) ケアをしている人は2人以上いるか (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合)

・ お世話を必要としている人と別居しているケアラー (N=44) のうち、2人以上ケアしている者は20.5%であった。



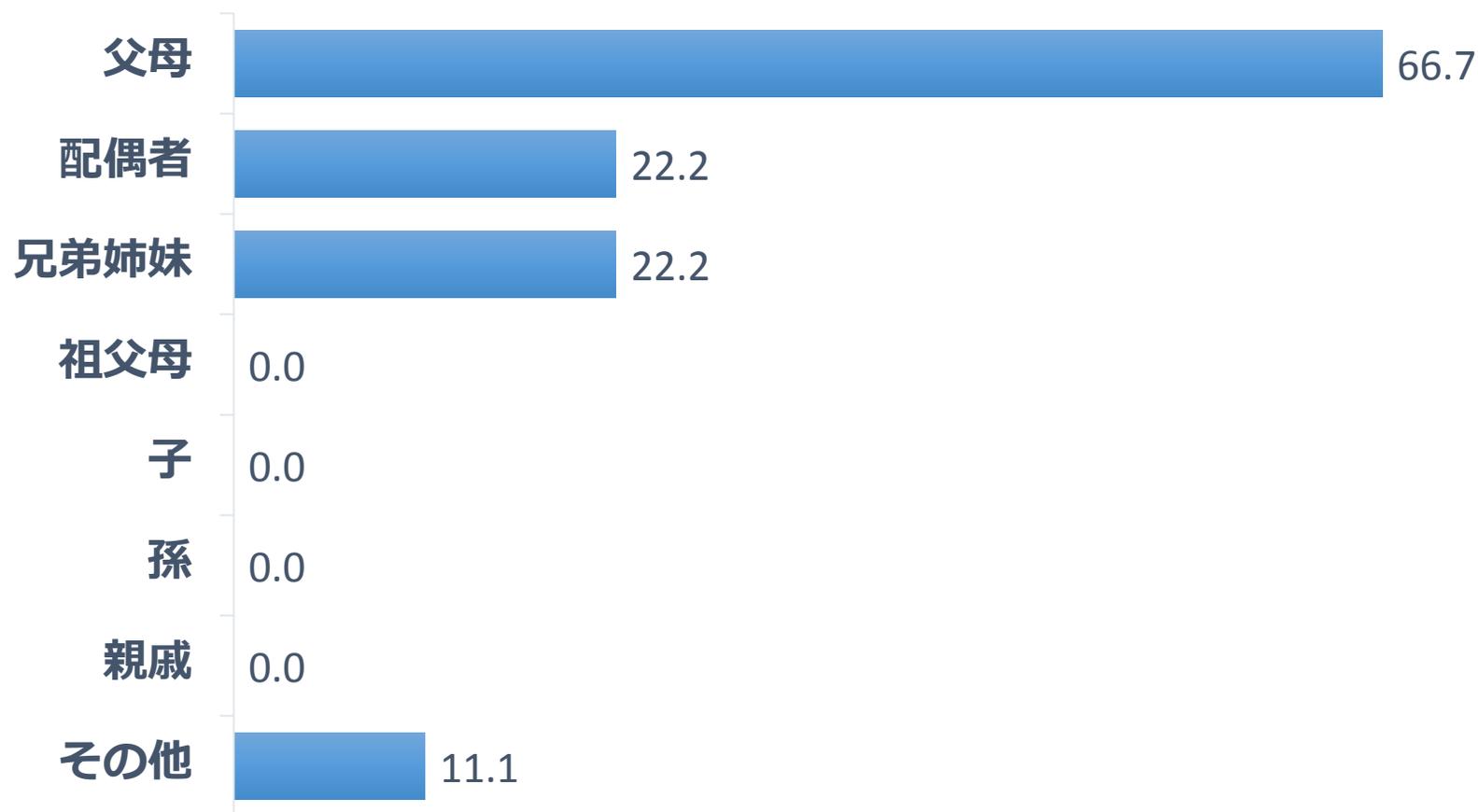
## (32-2) ケアラーが複数の人をケアしている場合の人数 (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合)

・ お世話を必要としている人と別居しており、かつ、複数の人をケアしているケアラー（N=9）がケアしている人数をみると、「2人」が77.8%で最も高く、次いで「3人」が22.2%であった。



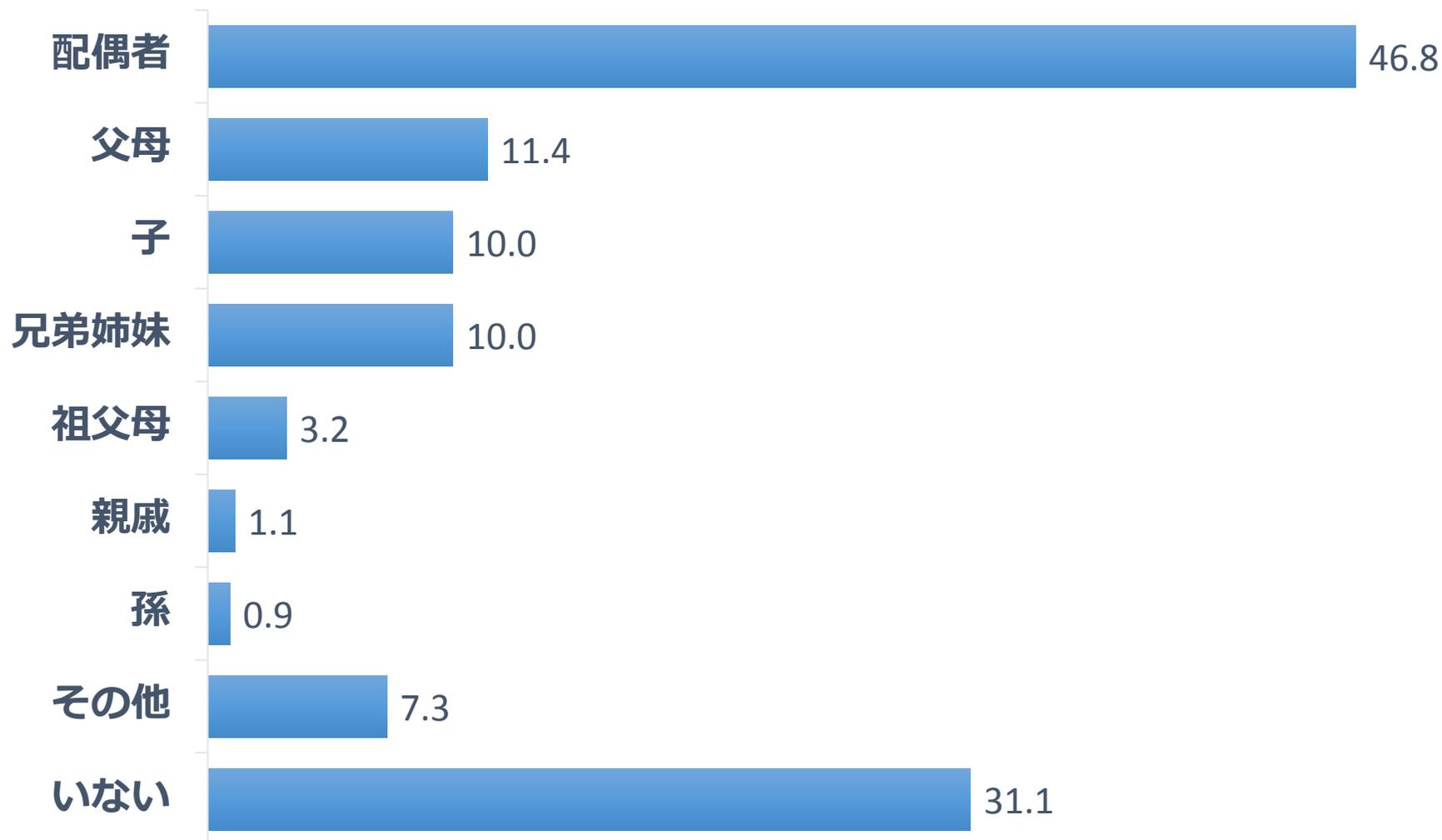
### (32-3) ケアラーが複数の人をケアしている場合のその人との関係 (ケアラーがお世話を必要としている人と別居の場合：複数回答)

・お世話を必要としている人と別居しており、かつ、複数の人をケアしているケアラー（N=9）がケアしている人との関係をみると、「父母」が66.7%で最も高く、次いで「配偶者」と「兄弟姉妹」が22.2%であった。



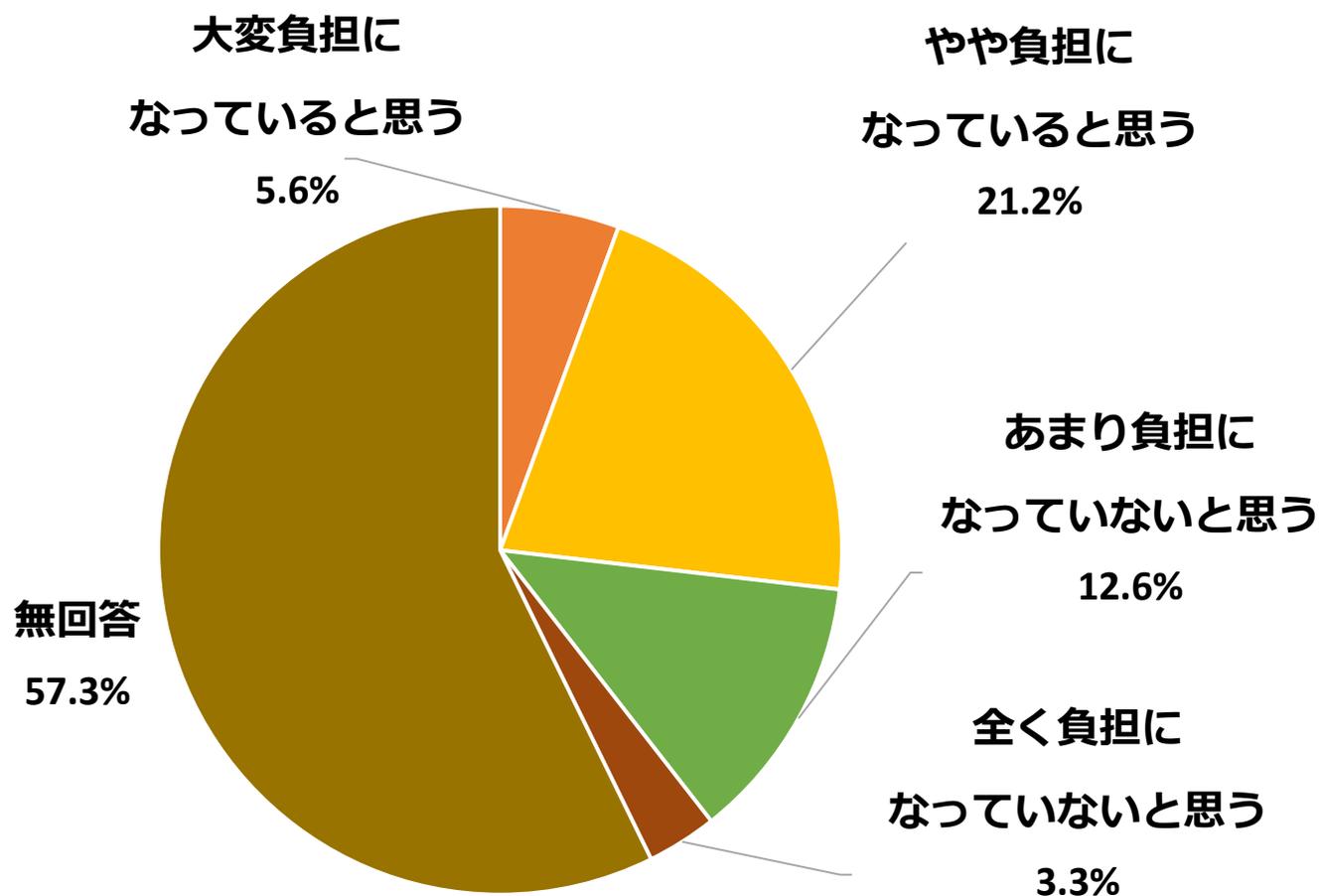
### (33) ケアラー（あなた）と日常的に介護を分担してくれる人の状況（複数回答）

・ 日常的に介護を分担してくれる人（N=438）の状況を見ると、「配偶者」が46.8%で最も高く、次いで分担してくれる人が「いない」が31.1%であった。



### (34) 介護を分担してくれる人にケアラーが感じている負担感

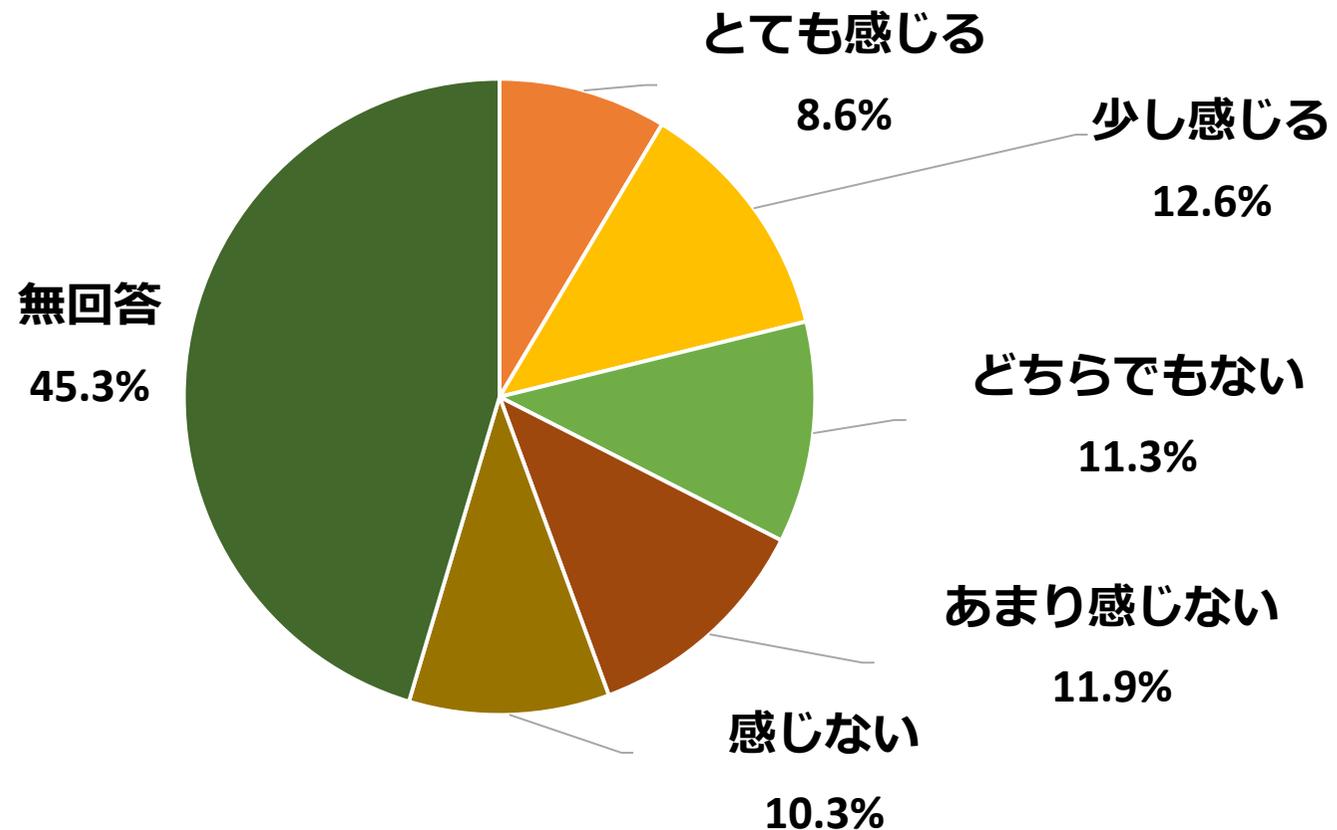
・ 介護を分担してくれる人にケアラーが感じている負担感（N=302）をみると、「無回答」が57.3%で最も高く、次いで「やや負担になっていると思う」が21.2%であった。



## (35) ケアを分担していることについて感じていること

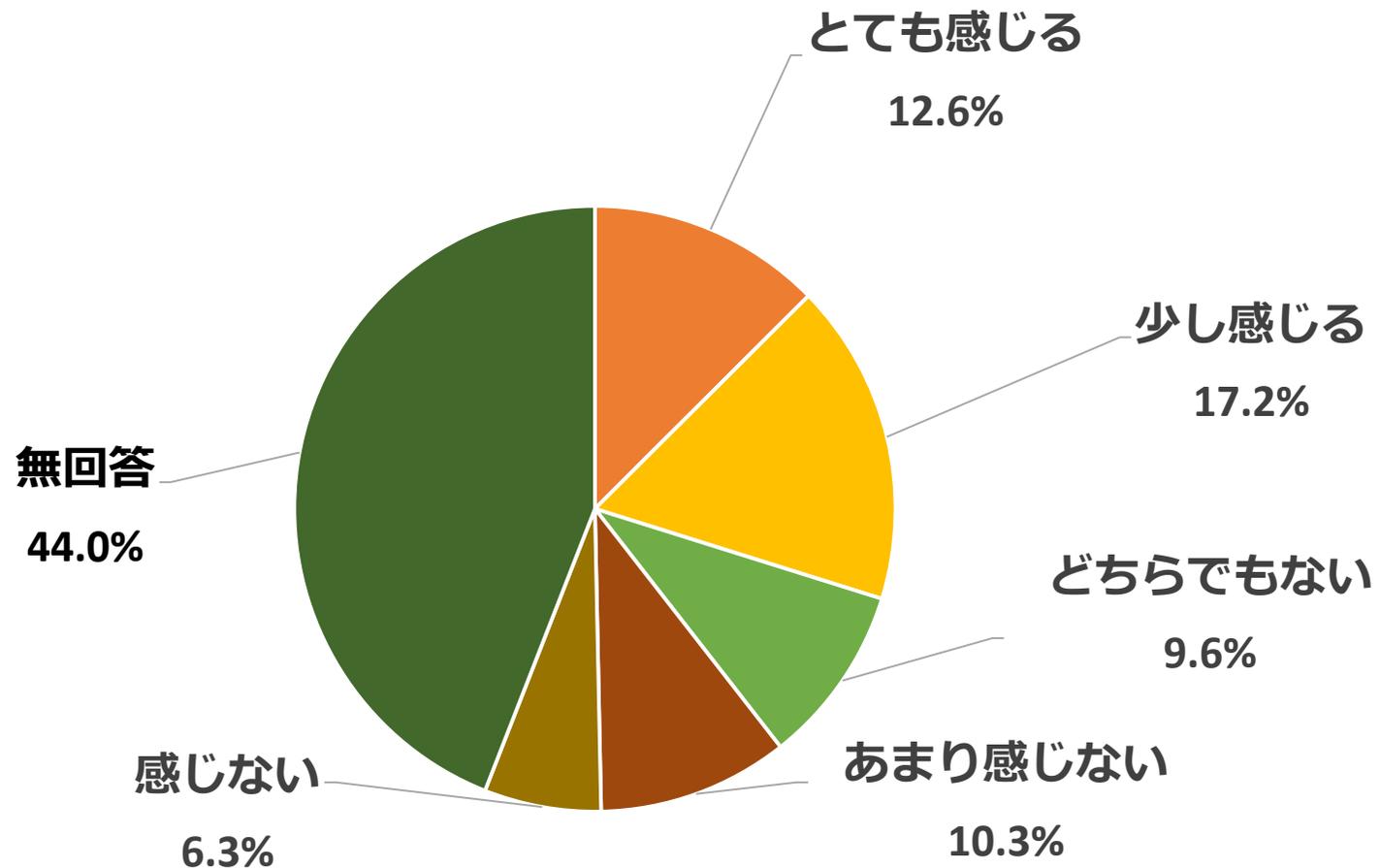
### ① 自分の負担を増やし分担してくれている人の負担を減らしたい

・自分の負担を増やし分担してくれている人の負担を減らしたいことについてみると（N=302）、「無回答」が45.3%で最も高く、次いで「少し感じる」が12.6%であった。



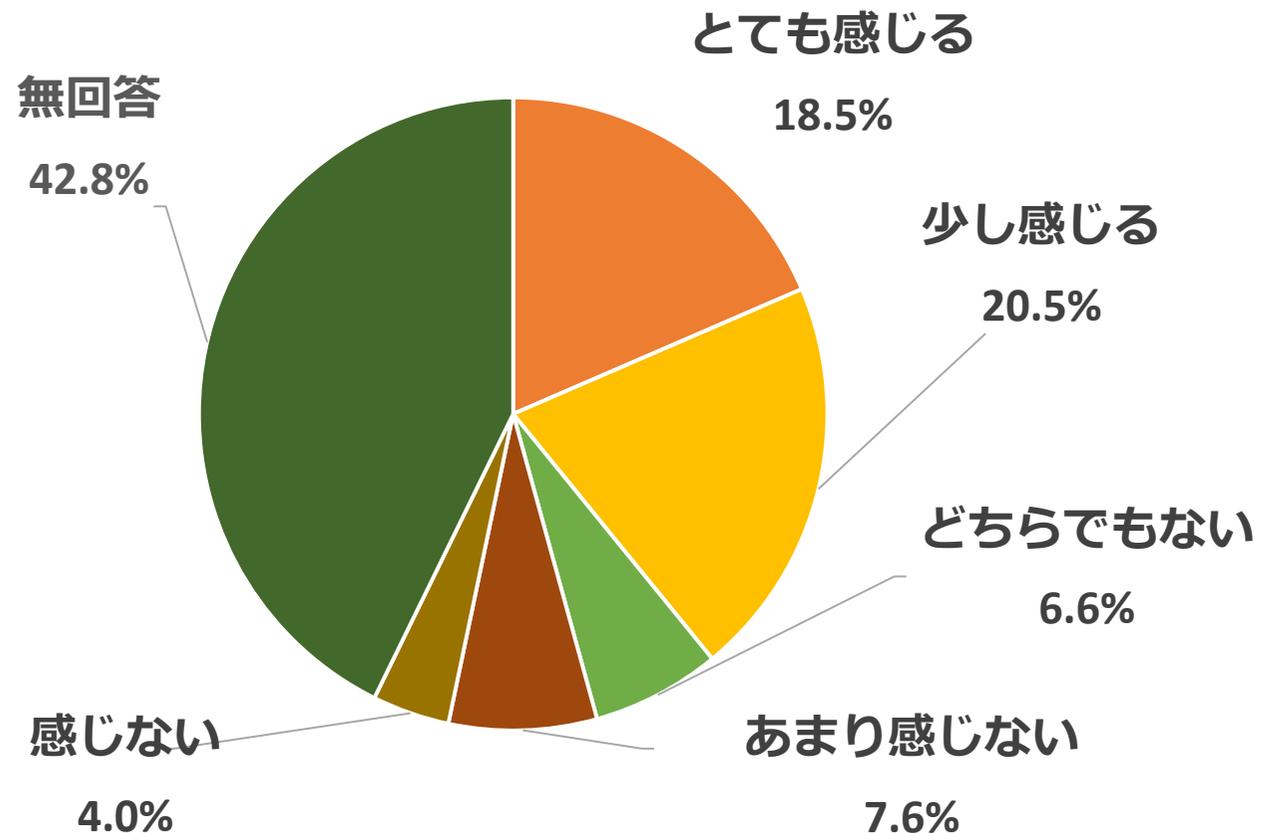
## ② 他の家族等に関わってもらい、自分や分担してくれている人の負担を減らしたい

・他の家族等に関わってもらい、自分や分担してくれている人の負担を減らしたいことについてみると（N=302）「無解答」が44.0%で最も高く、次いで「少し感じる」が17.2%であった。



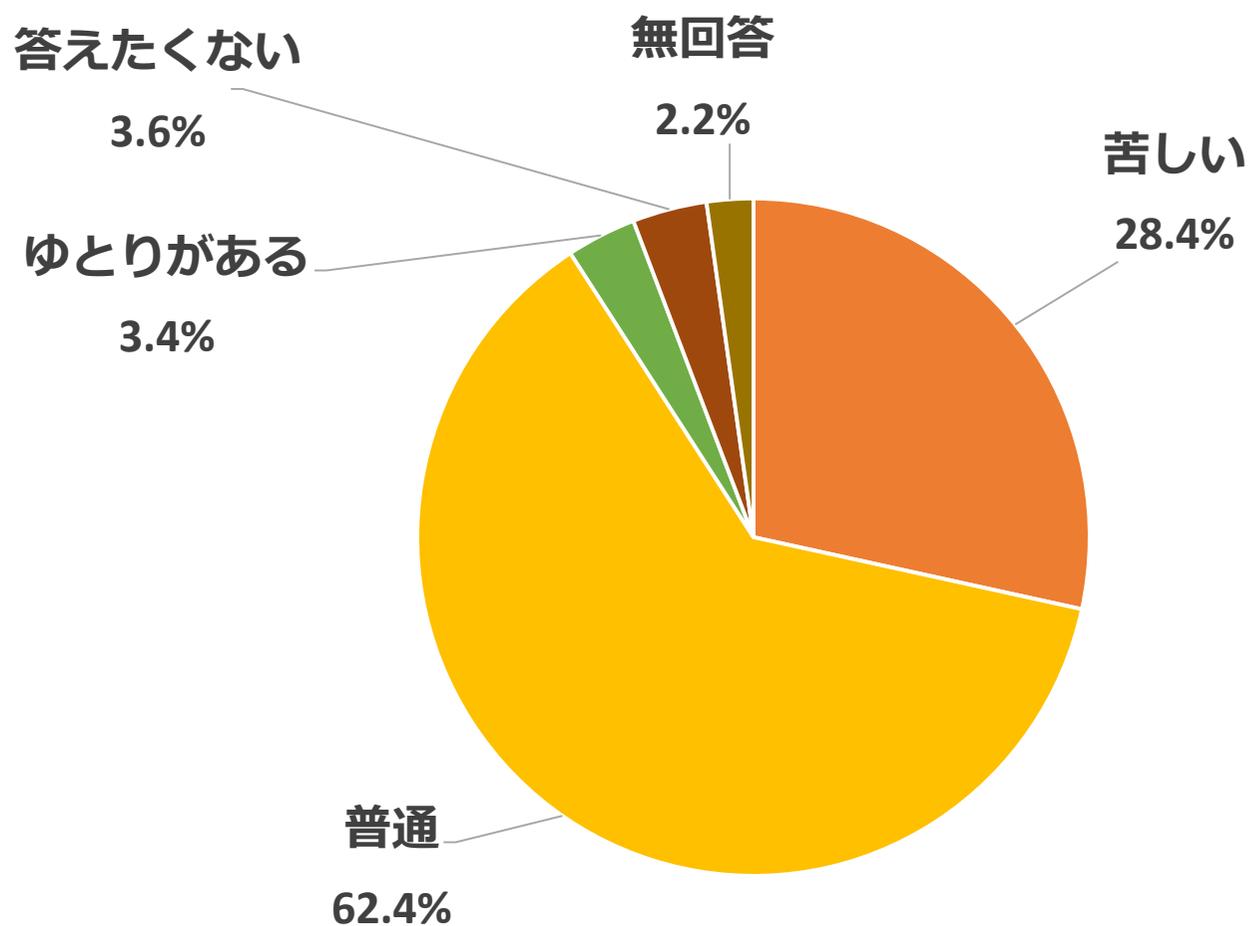
### ③ 公的サービスの利用を増やし、自分や分担してくれている人の負担を減らしたい

・ 公的サービス利用を増やし、自分や分担してくれている人の負担を減らしたいことについてみると（N=302）、「無解答」が42.8%で最も高く、次いで「少し感じる」が20.5%であった。



### (36) 現在の生活のくらし向き

・現在の生活のくらし向き（N=447）をみると、「普通」が62.4%で最も高く、次いで「苦しい」が28.4%であった。



### (37) 今後の生活の暮らし向き

・今後の生活の暮らし向き（N=447）をみると、「今と変わらない」が32.4%で最も高く、次いで「今より苦しくなる」と「わからない」が30.9%で同率であった。

